

第六次紫波町母子保健計画

計画期間：2020 年度～2023 年度



令和2年3月

目 次

I	計画の概要	
1	計画の趣旨	・・・1
2	母子保健法で規定する主要事項	・・・2
3	計画の期間	・・・3
4	母子保健計画の経緯	・・・3
II	町の状況	
1	町の特色	・・・4
2	人口統計	
(1)	人口と世帯	・・・5
(2)	出生状況	・・・6
3	妊婦・家族の喫煙状況	・・・8
4	子ども達の現状	
(1)	生活リズム	・・・9
(2)	3歳児のう歯状況	・・・11
(3)	幼児教室参加状況	・・・12
5	母子保健事業一覧	・・・13
III	評価方法と第五次計画の評価	
1	評価方法	・・・14
2	施策の評価	
(1)	はぐくむ命	・・・15
(2)	健康なからだ	・・・18
(3)	楽しい子育て	・・・23
3	みなさんの声	・・・25
4	産後に関するアンケート調査	・・・27
5	子育てに関するアンケート調査	・・・29
IV	施策の展開	
1	施策の体系	・・・31
2	実施施策	
(1)	はぐくむ命	・・・32
(2)	健康なからだ	・・・36
(3)	楽しい子育て	・・・40
V	計画の推進	
1	切れ目ない支援体制	・・・45
2	事業の進捗を確認する機関	・・・46
3	第六次紫波町母子保健計画策定経過	・・・47

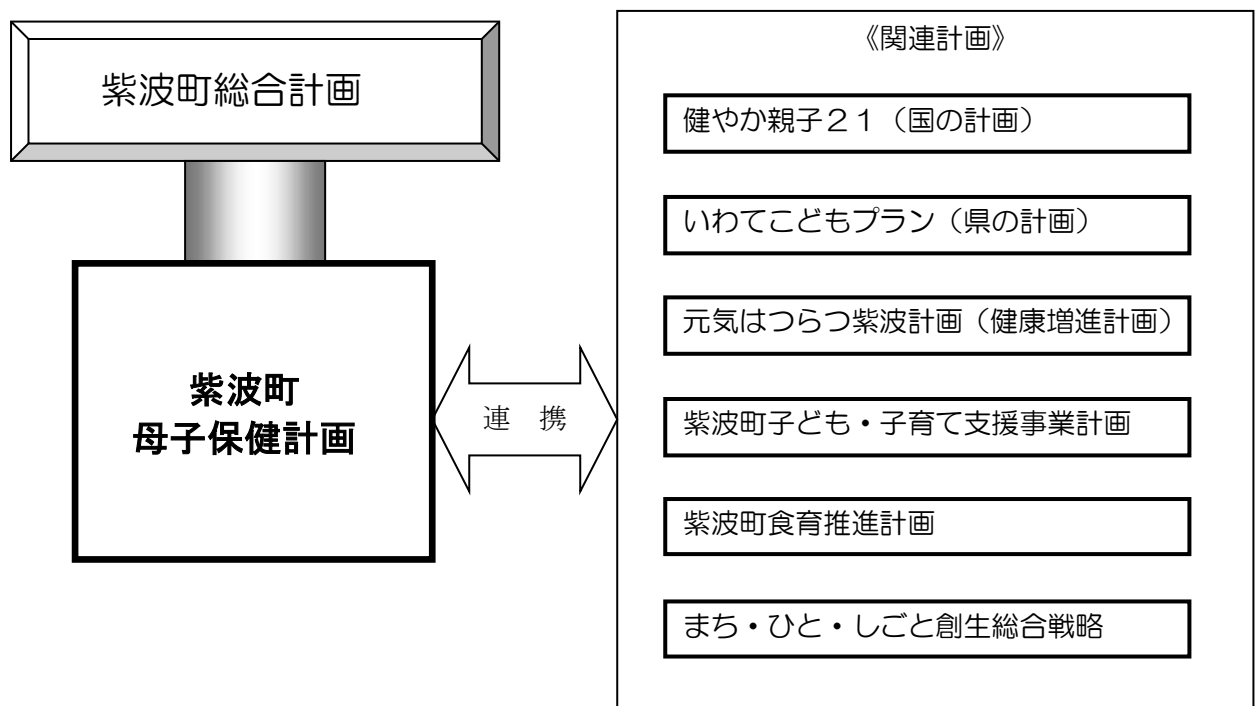
I 計画の概要

1 計画の趣旨

少子化等に伴い子育て環境が変化する中で、安心して子どもを産み、子どもが健やかに育つためには、医療や福祉・教育機関等との連携のもと、切れ目なく母子保健サービスを提供することが求められています。

本計画は第三次紫波町総合計画に掲げる「一人ひとりが健康で安心して暮らせるまちをつくります」という分野別施策を推進するための計画のひとつに位置づけられるものであり、効果的な母子保健対策の推進を図るための計画です。

母子保健法に規定される町の責務を基本に、国民運動である「健やか親子21（第2次）」で示された課題や指標を踏まえながら、第五次計画を見直し、第六次計画の策定を行いました。



2 母子保健法で規定する主要事項

(1) 用語の定義

用 語	定 義
妊産婦	妊娠中又は出産後 1 年以内の女子
乳 児	1 歳に満たない者
新生児	出生後 28 日を経過しない乳児
未熟児	身体の発育が未熟のまま出生した乳児であって、正常児が有する諸機能に至るまでの期間にあるもの
幼 児	満 1 歳から小学校就学の始期に達するまでの者
保護者	親権を行う者、あるいは未成年後見人等に選任された乳児又は幼児を現に監護する者

(2) 市町村の役割

役 割	条 文
①母子保健に関する知識の普及	9 条
②妊産婦若しくはその配偶者に対する保健指導	10 条
③新生児の訪問指導	11 条
④幼児健康診査（1 歳 6 カ月・3 歳）	12 条
⑤法定以外の幼児健康診査を受診することの勧奨	13 条
⑥妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する栄養摂取の援助	14 条
⑦妊娠の届出先	15 条
⑧妊娠の届出をした者に対する母子健康手帳の交付	16 条
⑨妊産婦への訪問指導	17 条
⑩低体重児（2,500 g 未満児）の届出先	18 条
⑪未熟児への訪問指導	19 条
⑫未熟児への養育医療	20 条
⑬母子健康センターの設置	22 条
≪参考≫ 「保健センター」という名称は地域保健法で規定されており、母子保健や老人保健の活動を行う拠点施設という定義から、母子健康センターも包括している。	

3 計画の期間

本計画の期間は、2020 年度から 2023 年度までの4年計画とします。

各年度において元気はつらつ白書による実績値の管理を行い、4年目に目標値の見直しを行います。

4 母子保健計画の経緯

計画名称	計画期間	主な出来事と計画の特徴
第一次 紫波町母子保健計画	平成 9 年度 ～ 平成 13 年度	○平成 6 年、母子保健法の一部改正 ○平成 9 年度から、母子保健事業実施主体が市町村に移譲されることになった。 ○平成 9 年 3 月、第一次計画を策定。
第二次 紫波町母子保健計画	平成 14 年度 ～ 平成 18 年度	○第二次計画は、基本理念に「地域で安心して子育てできる町」を掲げた。 ○平成 15 年、次世代育成支援対策推進法施行 ○平成 16 年 3 月、紫波町次世代育成支援行動計画が策定され、母子保健分野も包括された。
第三次 紫波町母子保健計画	平成 20 年度 ～ 平成 23 年度	○第三次計画は、事業の進捗状況を測る確認指標を設定した。 ○平成 23 年 3 月、第二次紫波町総合計画が策定された。
第四次 紫波町母子保健計画	平成 24 年度 ～ 平成 27 年度	○第四次計画は、第二次総合計画や次世代育成支援後期行動計画との整合性を図りながら策定した。 ○平成 27 年 3 月、紫波町子ども・子育て支援事業計画が策定された。
第五次 紫波町母子保健計画	平成 28 年度 ～ 平成 31 年度	○第五次計画は、「健やか親子 21（第 2 次）」で示された課題や指標を基本に策定した。
第六次 紫波町母子保健計画	令和 2 年度 ～ 令和 5 年度	○

Ⅱ 町の状況

1 町の特徴

紫波町は、岩手県のほぼ中央部に位置し、東部、中央部、西部に分けられ、中央部はJR東北本線と国道4号、東部は国道396号と国道456号が縦断、西部には東北自動車道紫波インターチェンジがあり、交通の便に恵まれています。

中央部には、日詰駅、紫波中央駅、古館駅のJR東北本線の3つの駅があります。

町では、紫波中央駅前町有地の活用を図るため、平成21年3月に紫波町公民連携基本計画を策定し、紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）に着手しました。

これまでに、オガールプラザ（図書館・子育て応援センター・産直など）、オガールベース（バレーボール専用体育館・宿泊施設など）、役場庁舎が建設されました。

さらに、平成28年度には、オガールセンター（小児科・教育サポートセンター・スポーツジムなど）が誕生。翌年度にはこどもセンターが同施設内に設置され、隣地には、オガール保育園が開園しています。平成30年度11月には、ファミリーサポートセンターが開設されています。

東部では果樹の栽培が盛んであり、ワインの生産も行われ、西部では稲作を中心に、畜産のほか多様な野菜の生産に取り組んでいます。

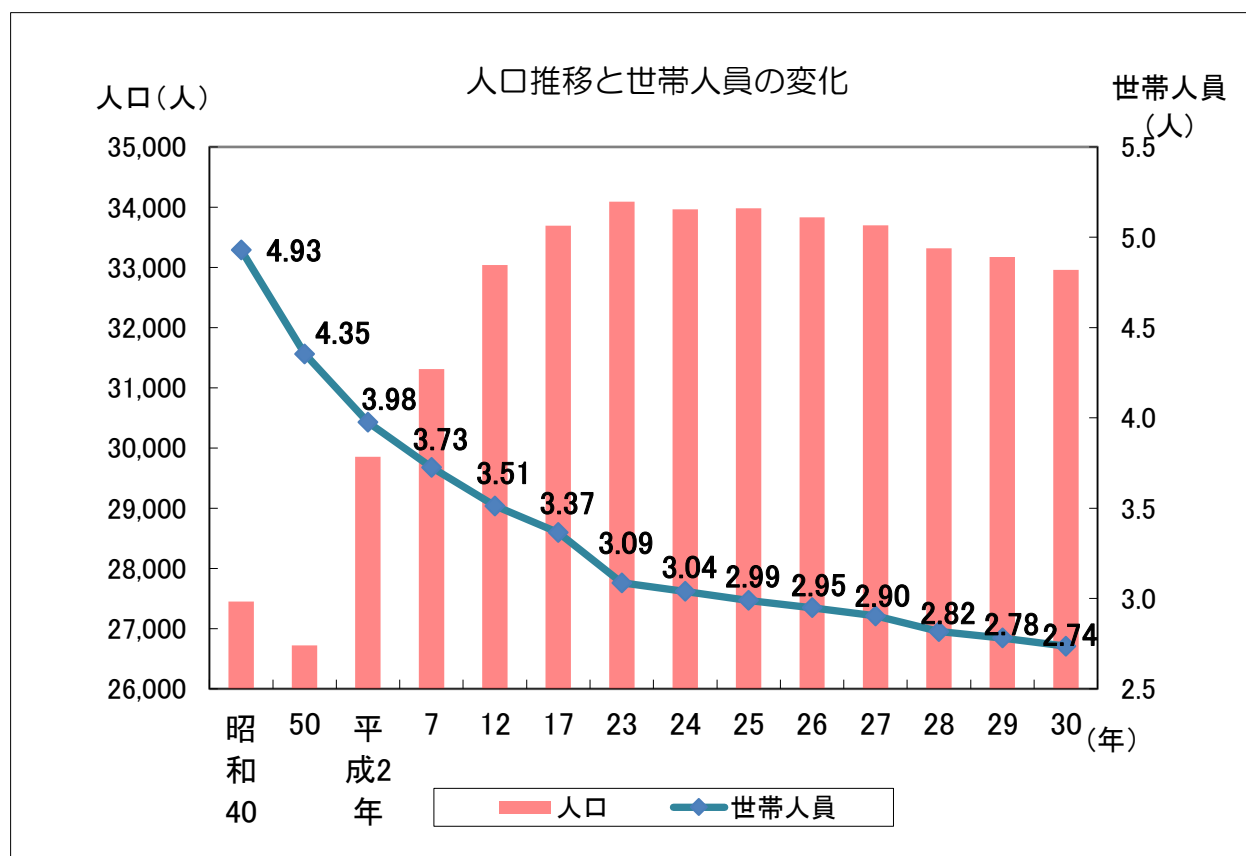
観光面では、野村胡堂・あらえびす記念館、平泉文化に関連する五郎沼、あづまね温泉（「ききょう荘」「ラ・フランス温泉館」）、地産地消に取り組む産直などが数多く存在します。

●人口：	33,653人
●世帯数：	11,709世帯
●医療機関	
病院：	1
一般診療所：	16（うち小児科：1）
歯科診療所：	13
●保育施設・学校	
保育園：	4（オガール・古館・虹・佐比内）
児童館：	4（水分・彦部・赤沢・長岡）
認定こども園：	3（ひかりの子・赤石幼稚園 赤石保育園・あづま幼稚園）
小規模保育所：	1（古館こぐま）
こどもの家：	9（日詰3カ所・古館3カ所・水分・片寄・赤石2カ所）
放課後児童クラブ：	3（上平沢・星山・長岡）
民間託児サービス・託児所：	2（紫波ポケット・保育ママさん宅）
小中学校：	11
中学校：	3
高等学校：	1

（令和2年 月末時点）

2 人口統計

(1) 人口と世帯



年	昭和40	昭和50	平成2年	平成7	平成12	平成17	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
人口	27,449	26,720	29,856	31,311	33,038	33,692	34,092	33,965	33,983	33,830	33,696	33,314	33,170	32,958
世帯数	5,568	6,136	7,510	8,402	9,406	10,012	11,045	11,175	11,368	11,471	11,604	11,827	11,925	12,045
世帯人員	4.93	4.35	3.98	3.73	3.51	3.37	3.09	3.04	2.99	2.95	2.90	2.82	2.78	2.74

← 国勢調査 → ← 住民基本台帳 →

※昭和40年から平成17年(国勢調査)
 ※平成23年以降は3月末時点の数値
 平成25年以降は外国人を含む数値

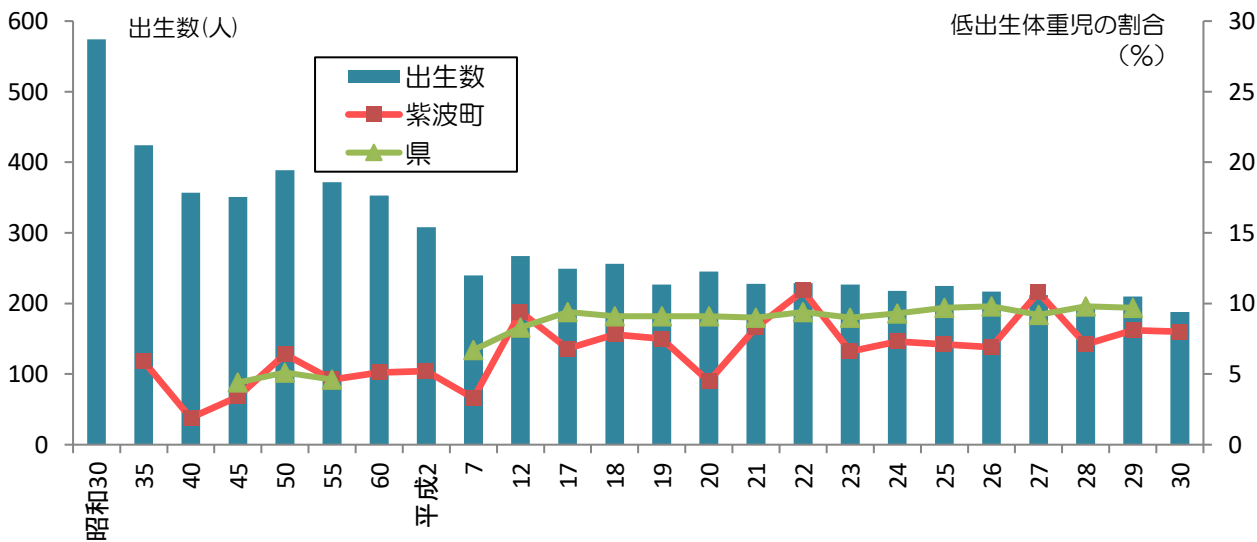
- ① 昭和40年代から人口は増加、総人口の伸びは平成16年にピークを迎え、減少に転じています。
- ② 人口が減少する中で、世帯数は増加が続いています。
- ③ 一世帯あたりの人員は、平成22年度には約3人まで減少し、核家族化が進行しています。

(2) 出生
① 年次別出生数

年	出生数 (人)	乳児死亡		低出生体重児※1		合計特殊出生率 ※2
		死亡数(人)	死亡率(%) 千人当たり死亡 数	出生数(人)	率(%)	
昭和30	574	34	59.2	—	—	—
35	424	15	35.4	25	5.9	—
40	370	7	18.9	7	1.9	—
45	351	5	14.2	12	3.4	—
50	389	6	15.4	25	6.4	—
55	372	5	13.4	17	4.6	—
60	353	1	2.8	18	5.1	2.06
平成2	308	2	6.5	16	5.2	1.87
7	240	0	0.0	8	3.3	1.55
12	267	2	7.5	25	9.4	1.32
17	249	0	0.0	17	6.8	1.45
18	256	0	0.0	20	7.8	1.39
19	227	0	0.0	17	7.5	1.40
20	245	2	8.2	11	4.5	1.39
21	228	0	0.0	19	8.3	1.41
22	229	0	0.0	25	10.9	1.36
23	227	2	8.8	15	6.6	1.36
24	218	1	4.6	16	7.3	1.37
25	225	1	4.4	16	7.1	1.39
26	217	0	0.0	15	6.9	1.43
27	212	2	9.4	23	10.8	1.44
28	198	0	0.0	14	7.1	1.46
29	210	0	0.0	17	8.1	1.51
30	188	0	0.0	15	8.0	

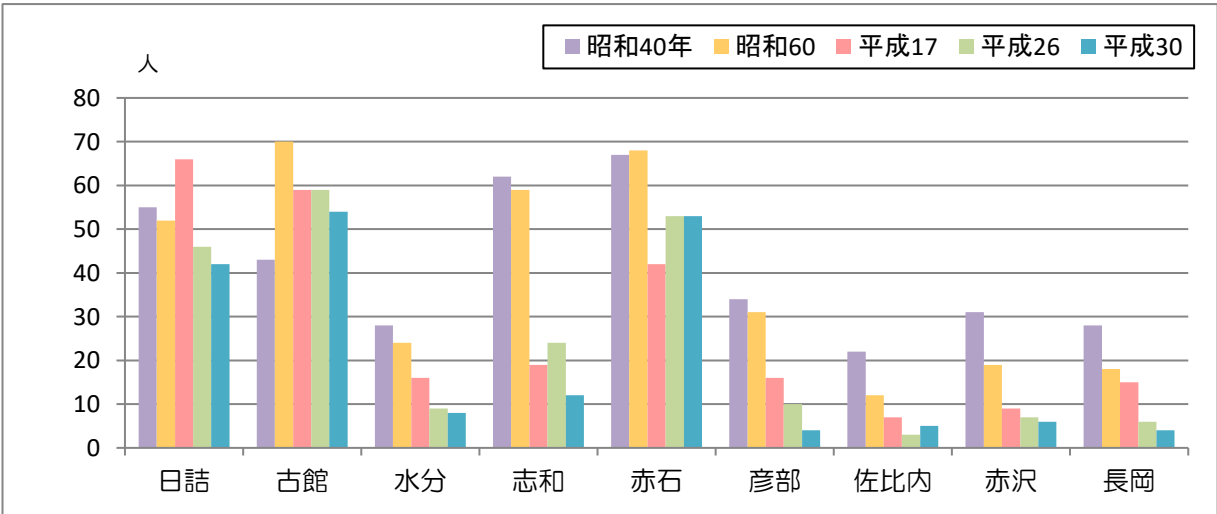
※1 低出生体重児＝出生時体重が2,500g未満の乳児
※2 合計特殊出生率＝15歳から49歳までの女性の各歳における出生率を合計した数字。
1人の女性が一生の間に産む子供の数に相当する（資料 岩手県保健福祉年報）

② 出生数と低出生体重児の割合の推移



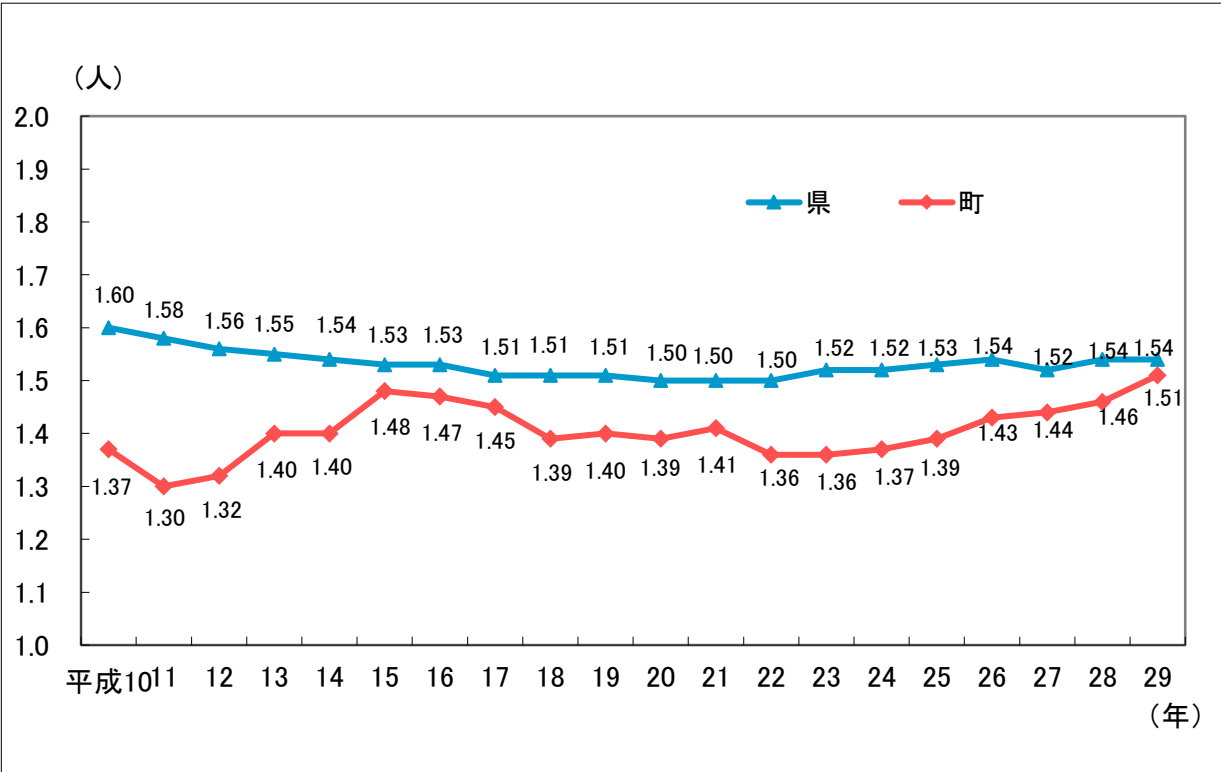
- ① 最近の出生数は、220人前後で推移しています
- ② 最近の低出生体重児数は15人前後です。
- ③ 平成22年と27年は県の割合より高値でしたが、それ以外の年は県を下回っています。

③地区別出生数の推移



地区別出生数をみると、常に日詰、古館、赤石地区の中央部の出生数が、街全体の7～8割を占めます。過去10年間で、各地区の出生数は減少傾向にあります。

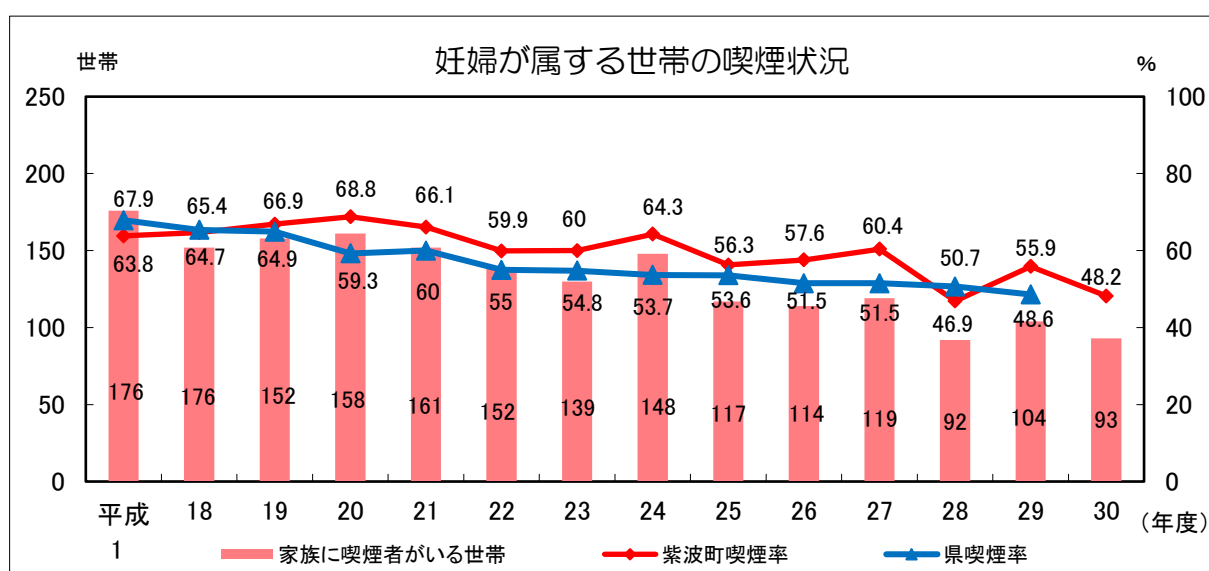
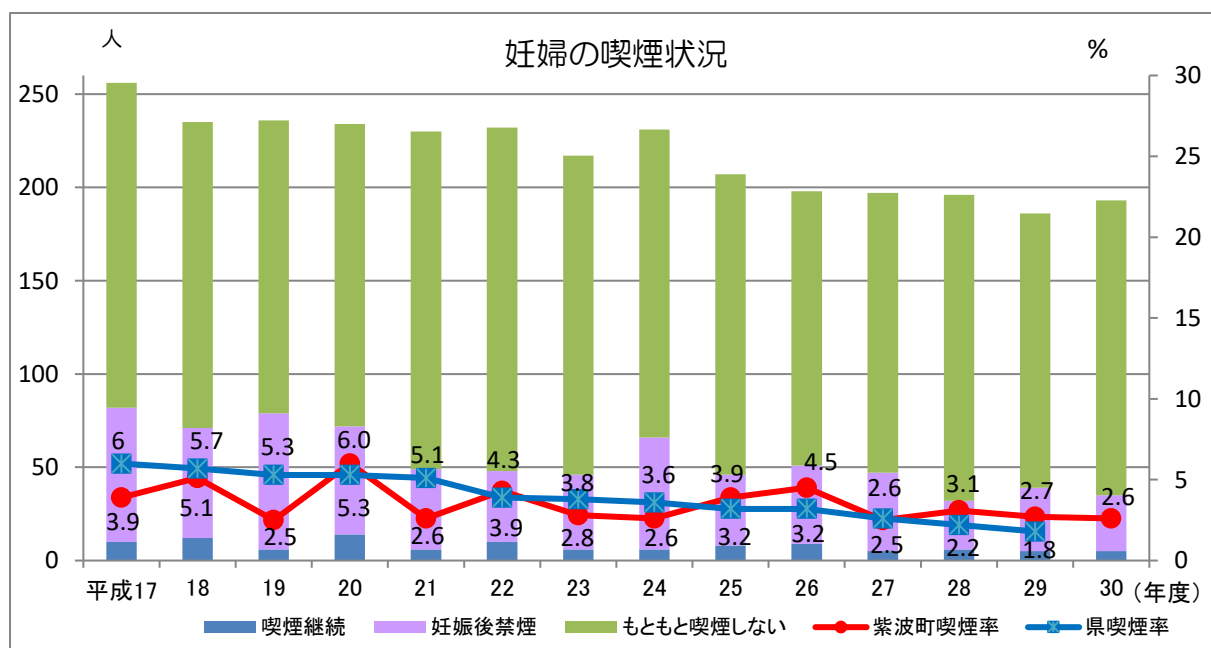
④合計特殊出生率



※合計特殊出生率＝（母の年齢別出生数÷年齢別女子人口）×（15～49歳の女子合計）
一人の母（15～49歳の再生産年齢にある女子）が一生の間に生む子供の数（岩手県保健福祉年報）

- ① 全国の合計特殊出生率は、平成29年で1.43人です。（厚生労働省「人口動態統計」）
- ② 岩手県は、過去10年1.50人前後で推移しています。
- ③ 町の合計特殊出生率は、平成22年から少しずつ上昇し、平成29年には1.51人まで上昇しました。

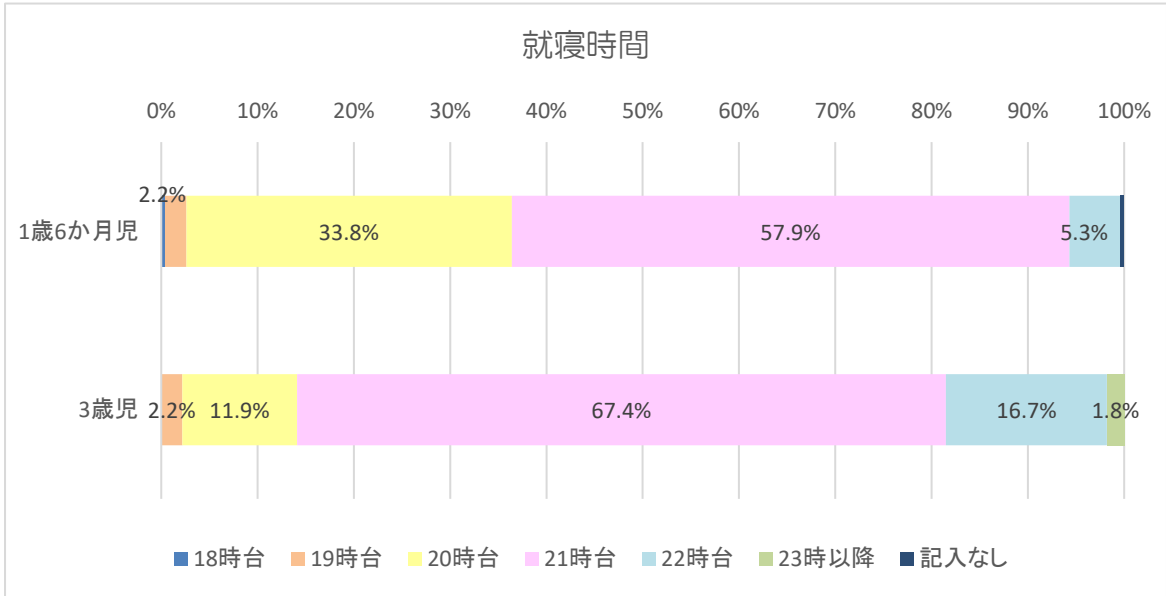
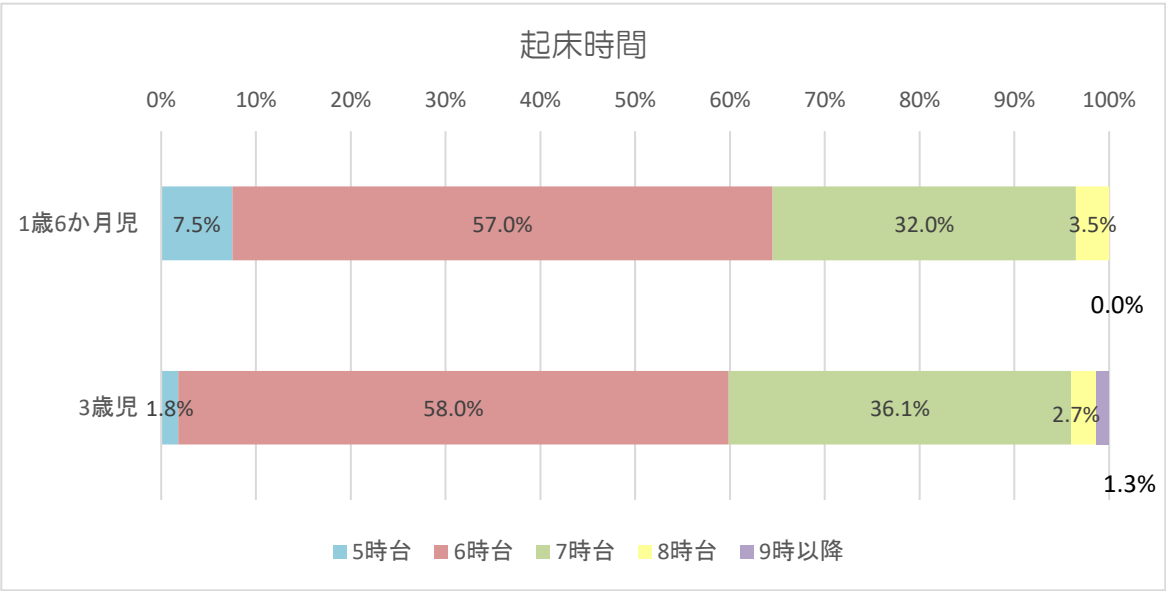
3 妊婦・家族の喫煙状況



母子健康手帳交付時アンケートの結果

- ① 妊婦喫煙率は、平成24年度までは県の値より低い状況でしたが、平成25年度以降から高い状況が続いています。
(平成29年度：県：1.8% 紫波町：2.7%)
- ② 妊娠前に喫煙していた者のうち、8～9割は妊娠を機に禁煙しています。
妊婦継続喫煙者は、お腹の中の赤ちゃんへの害は認識しているものの、止められない状況にあります。
- ③ 家族に喫煙者がいる世帯は、平成27年度以降減少傾向にありますが、まだ5割近くいます。また、県と比較しても、その喫煙率は高い状況が続いています。

4 子ども達の現状
(1) 生活リズム

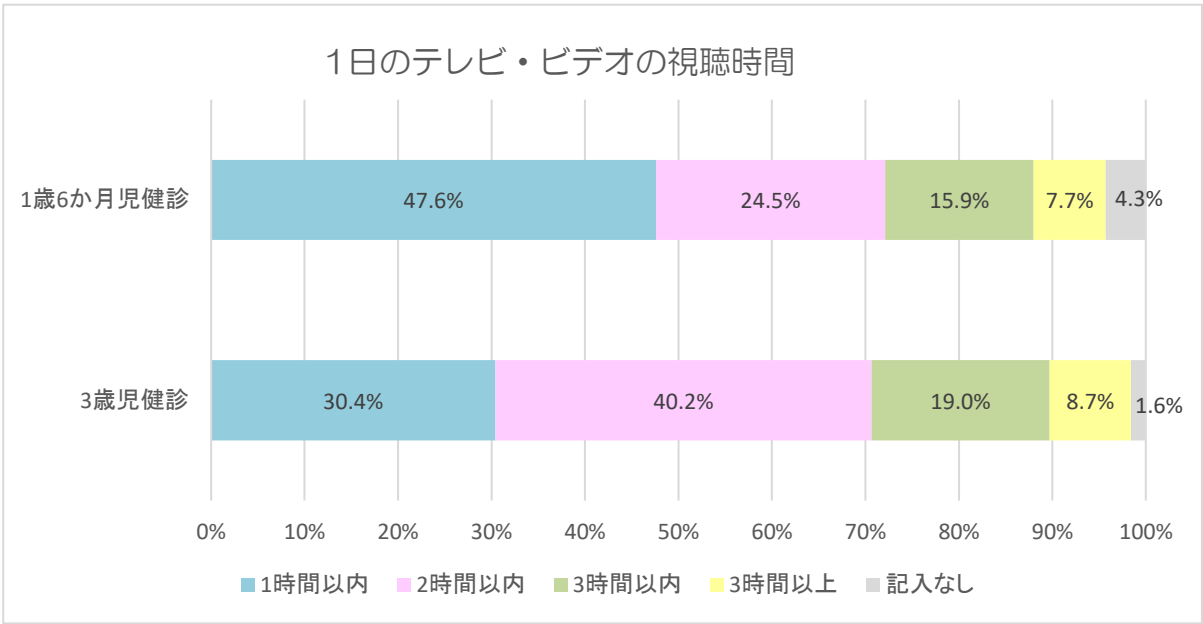


平成30年度 1歳6か月児健診・3歳児健診問診票より

- ① 1歳6か月児・3歳児ともに、6時台に起床している子どもの割合が最も多く、早起きが習慣化していると考えられます。

② 21時台までに就寝する者の割合は、1歳6か月児では9割を超えていますが、3歳児では8割弱に減少しています。また、3歳児では20時台に就寝する者の割合が1歳6か月児の約3分の1になり、22時台に就寝する者の割合が約3倍になっており、就寝時間が遅くなる傾向にあると考えられます。

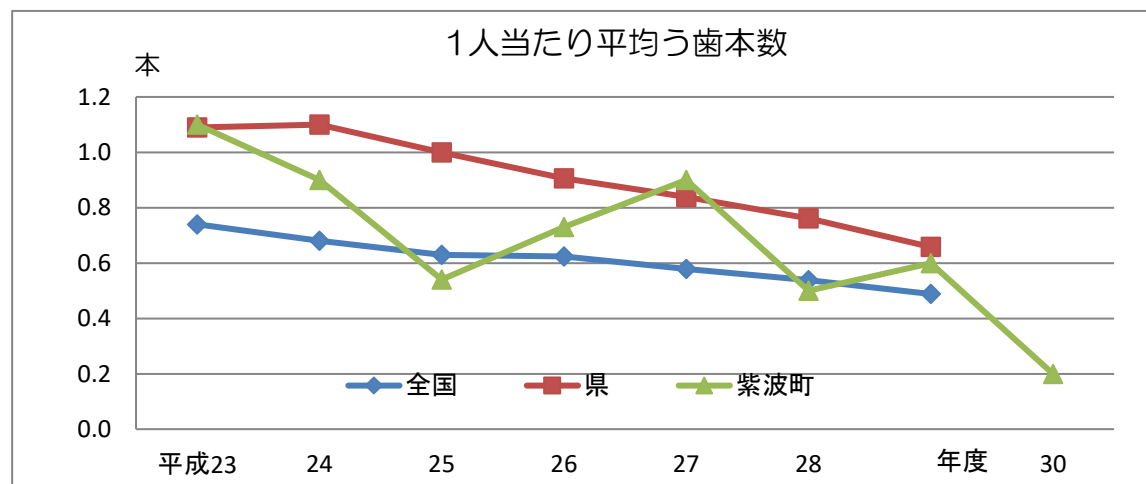
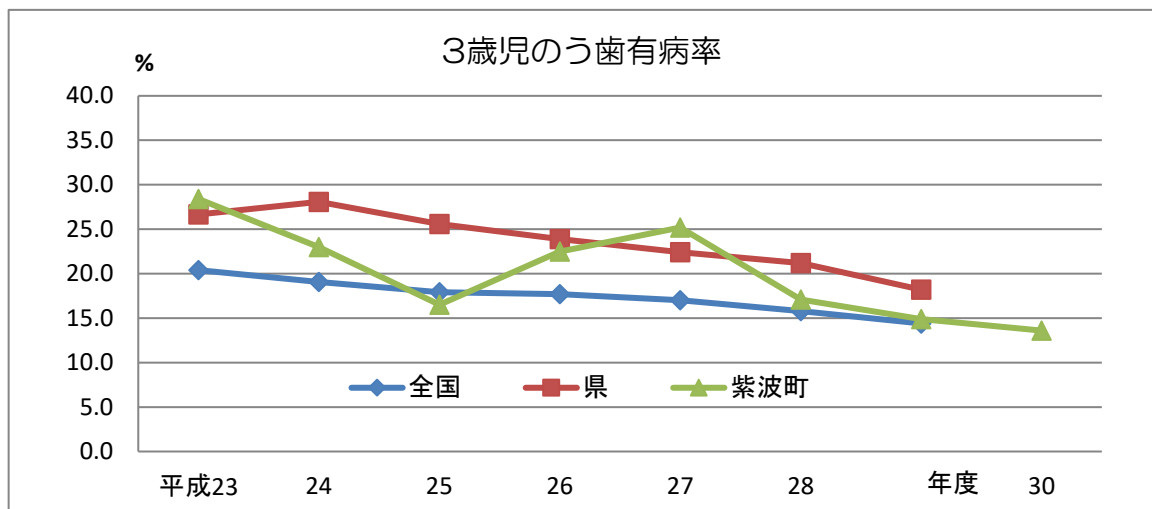
(2) テレビ・ビデオの視聴時間



平成30年度 1歳6か月児健診・3歳児健診問診票より

テレビやビデオの視聴時間は、3歳児になると1時間以内の者の割合が減少し、2時間以内の者の割合が増加しており、視聴時間が長くなっていることが分かります。

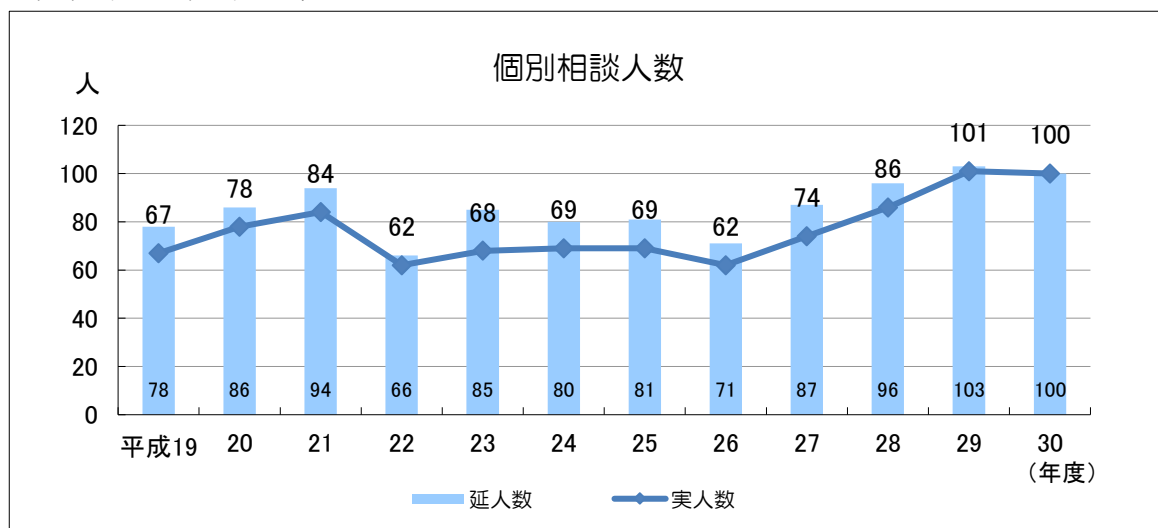
(3) 3歳児のう歯（むし歯）状況



全国・県のデータ：3歳児歯科健康診査結果集計
 紫波町のデータ：3歳児健康診査結果
 ※平成30年度の国と県のデータはまだ公表されていない。

- ① 3歳児健康診査において、う歯がある幼児は、近年50人前後で推移しています。
- ② う歯有病率、1人あたりの平均う歯本数ともに近年は減少傾向にあるものの、どちらも全国平均をやや上回っています。
- ③ 1人当たり平均う歯本数は減少傾向にあり、平成29年度から30年度にかけて特に大幅に減少しています。

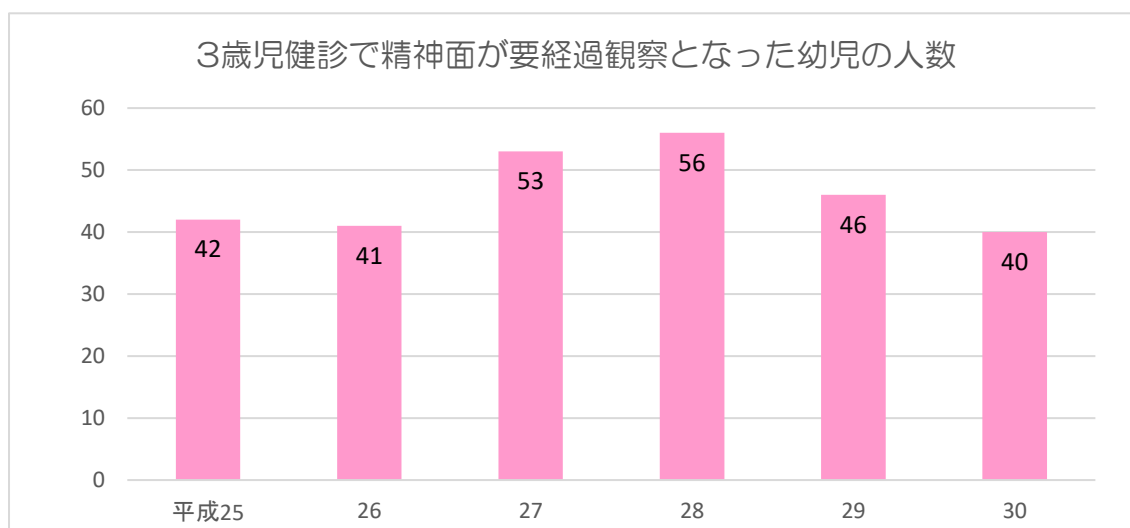
(4) 個別相談の状況



母子保健事業報告

個別相談件数は平成22年度に減少し、その後近年増化傾向にあります。この相談は、幼児の言語や行動の相談が主ですが、母親自身の育児不安やストレスに関する相談もあります。

(5) 3歳児健診で精神面が要経過観察となった児の状況



3歳児健康診査結果

3歳児健康診査において、精神面（※）で要経過観察となった児は、過去6年間、40～60人で経過しています。要経過観察児の中には、町の個別相談で継続支援したり、専門医療機関・相談機関に繋いでいます。

※精神面：言語障害、情緒面、自閉的傾向、精神機能発達異常、多動、養育環境等、その他

5 母子保健事業一覧

区 分	事 業 名	内 容
妊産婦 健康づくり (妊娠・出産)	母子健康手帳交付	体調等を確認しながら交付。妊娠 11 週以内の早期届出を勧奨する。
	妊婦一般健康診査	妊婦健康診査 14 回分を全額公費負担する。
	妊婦歯科健康診査	妊婦歯科健康診査 1 回分を全額公費負担する。
	パパママ教室	出産を迎える夫婦に正しい知識を伝え、不安の解消や交流の場とする。
	妊産婦訪問	妊婦及び産婦への訪問。エジンバラ産後うつ病質問票を活用したうつスクリーニングを実施し、ハイリスク妊産婦の支援を行う。
	授乳相談会	助産師に個別相談し、産後の授乳トラブルなどの指導を受ける。
乳幼児 健 康 診 査 (発育・発達)	新生児聴覚検査	初回検査 2,000 円分を公費負担する。
	乳児一般健康診査	1 歳 2 か月までの健康診査 5 回分を全額公費負担する。
	1 歳 6 カ月児健康診査	子どもの発育及び発達の状態を総合的に診察する。また、保護者が子どもの成長を確認するとともに育児相談ができる機会とする。(集団健康診査)
	3 歳児健康診査	
	幼児歯科健康診査	1 歳・2 歳・2 歳 6 カ月児を対象に集団歯科健康診査を実施する。
子 育 て 支 援 (育児・子育て)	新生児・乳児訪問	赤ちゃんの発達を確認するとともに、「Birth Book」を活用し健診や予防接種、子育て支援事業を紹介する。
	幼児訪問	発達や育児環境等について継続支援が必要な児への訪問。
	Baby Come ☆ 4-5 カ月広場	生後 4-5 カ月児と保護者が対象。健やかな発育を促すための親子の関わり方や離乳食の進め方について指導。
	ママのほっと広場	子どもの成長発達を確認する。育児相談に対応すると共に保護者の交流の場とする。
	離乳食教室	離乳食の実習
	幼児教室	発達特性のある幼児と保護者が対象。心身の発達に応じた親の関わりやより良い親子関係の確立が図れるように支援。
	個別相談	発達、療育面の個別相談。
	親子ハッピー講座	親子のふれあいを中心に、育児や子育てに役立つ情報を提供する講座。
	要保護児童対策地域協議会	児童虐待予防を目的に、関係機関が集まり虐待の疑いのある児やその保護者への支援方法や対応策について検討する。
助成・給付	特定不妊治療費補助金事業	特定不妊治療にかかる費用の一部を助成する。
	未熟児養育医療事業	身体の発育が未熟な状態で生まれた児に対し入院治療にかかる医療費を給付する。

Ⅲ 評価方法と第五次計画の評価

1 評価方法

評価の方法は、領域ごとの施策（取り組み）について評価を行い、次に領域の総合評価を行いました。

(1) 施策の評価

評価判定	評価基準
a	平成 30 年度の確認指標の目標値に対して実績値 8 割以上の達成率とする。
b	平成 30 年度の確認指標の目標値に対して実績値 5 割以上 8 割未満の達成率とする。
c	平成 30 年度の確認指標の目標値に対して実績値 5 割未満の達成率とする。

(2) 領域の総合評価

評価判定	評価基準
A	a が半数以上
B	b 以上が半数以上
C	b 以下が半数以上

2 施策の評価

★…健やか親子 21（第2次）の指標

＜施策領域＞ **01 はぐくむ命（妊娠・出産を支援します）**

◆実績・評価

0101 青少年期に健康の大切さを伝える						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①関係機関と連携し、思春期の問題について情報交換により現状を把握する。	連携会議や学校保健会議での情報収集・参加	目標値	随時把握	随時把握	随時把握	a
		実績値	把握済	把握済	把握済	
②生活習慣病の予防や健康の大切さを伝える。	成人式、小学校6年生へのリーフレット配付	目標値	2回	2回	2回	c
		実績値	0回	1回	1回	

0102 幼少期に正しい食生活習慣を身につけられるような環境を作る						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①関係機関と連携し、「作る・食べる」ことの楽しさを体験する機会をつくる。	食育事業の支援※1	目標値	随時	随時	随時	a
		実績値	把握済	把握済	把握済	
②正しい食生活習慣の大切さについて健診時に指導する。	3歳児健康診査での朝食欠食の割合	目標値	0%	0%	0%	a
		実績値	0.8%	1.2%	0%	

※1 わんぱく祭り 幼児教室 子育て応援センター食育講座

0103 妊娠・出産の正しい知識や情報を伝える						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①妊婦を対象に、規則正しい生活・より良い食習慣を身に付けることを啓発する。	母子健康手帳交付時の面接指導人数	目標値	交付者全員	交付者全員	交付者全員	a
		実績値	交付者全員	交付者全員	交付者全員	
②健康状態を確認する機会をつくる。	早期に妊娠届出を行う者の割合（妊娠11週以内）	目標値	90%	90%	90%	a
		実績値	91.8%	93.0%	95.9%	
	リスクが高い妊産婦への早期訪問	目標値	随時支援	随時支援	随時支援	-
		実績値	随時支援	随時支援	随時支援	
③リスクの高い妊産婦には医療機関と連携を図り支援する。	医療機関受診について個別支援を行った件数	目標値	随時支援	随時支援	随時支援	-
		実績値	随時支援	随時支援	随時支援	
④妊産婦及び家族に喫煙の影響を伝える。	妊婦の喫煙率★	目標値	0%	0%	0%	c
		実績値	3.1%	2.7%	2.6%	

◆実績・評価

O104 妊娠・出産の不安を軽減する						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①妊婦夫婦に、出産前の注意事項や産前産後のメンタルヘルスについて周知する。	パパママ教室の開催回数★	目標値	10回	10回	10回	a
		実績値	10回	10回	10回	
	夫婦で参加した割合	目標値	70%	70%	70%	a
		実績値	75.5%	75.0%	70.0%	
	初産婦のパパママ教室参加割合	目標値	20%以上	20%以上	20%以上	b
		実績値	17.6%	14.9%	12.1%	
②新生児等訪問時に母子の健康状態を把握し、産後の不安軽減に努める。	産後保健師等からの指導やケアに満足している者の割合★	目標値	80%	80%	80%	a
		実績値	92.8%	93.0%	90.5%	
	新生児訪問した割合★	目標値	15%	20%	25%	c
		実績値	12.2%	11.9%	12.4%	
	ハイリスク妊産婦の情報共有	目標値	随時共有	随時共有	随時共有	-
		実績値	随時共有	随時共有	随時共有	

O105 親としての自覚を意識させる						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①夫婦・家族がお互いの役割を理解し、積極的に育児に参加できるよう支援する。 ②夫婦で体験できる沐浴実習・抱っこ体験・パパのおやつ作り等の実習の場を設け、2人で子育てしていく意識が高まるよう支援する。	親になる心の準備ができたと感じる人の割合	目標値	90%	90%	90%	a
		実績値	95.4%	93.5%	97.0%	

0106 地域全体で妊産婦を支える						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①町民に妊産婦への配慮の必要性を啓発する。	広報・地区保健活動での周知	目標値	広報掲載年3回			c
		実績値	0回	0回	0回	
	マタニティステッカーを知っている者の割合★	目標値	50%	—	50%	a
		実績値	59.1%	— ※1	62.4%	

※1 元気はつらつアンケート調査隔年実施のためH29は実施なし。

◆総合評価

A	<判定理由> a：10個 b：1個 c：4個 <反省・短評> - 喫煙による身体への害は認識しているものの、止めることができない妊婦が数名程いるのが現状である。 - 今後も継続して、母子健康手帳交付時に喫煙の害について周知していくことが重要である。 - ハイリスクの妊産婦については、関係機関と連携を図りながら、早期からの支援を行っている。産婦の育児不安などの軽減のためにもできる限り1ヵ月以内の赤ちゃん訪問実施を目ざしたい。

＜施策領域＞ **02 健康なからだ（発育・発達を支援します）**

◆実績・評価

0201 乳幼児の成長・発育を確認する						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①乳幼児の成長・発達を確認できる健康診査の受診を勧める。	3～4カ月児健康診査受診率(個別)★	目標値	80.0%	82.5%	83.0%	a
		実績値	95.4%	76.1%	80.3%	
	1歳児歯科健康診査受診率	目標値	92.0%	92.5%	93.0%	a
		実績値	96.5%	94.3%	※80.9%	
	1歳6カ月児健康診査受診率★	目標値	98.0%	98.0%	98.0%	a
		実績値	96.4%	100%	95.4%	
	2歳児歯科健康診査受診率	目標値	95.5%	95.5%	96.0%	a
		実績値	94.3%	93.4%	95.1%	
	2歳6カ月児歯科健康診査受診率	目標値	95.5%	95.5%	96.0%	a
		実績値	97.1%	100%	98.1%	
②発達確認シート（育ち桜）を活用し、乳幼児個々の発達を保護者が確認できるようにする。	発達確認シート使用割合（各健康診査時）	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	100%	100%	100%	

※9～10か月歯科相談への移行のため、H30年度の1歳児歯科健康診査は4月、6月のみ実施

0202 病気や事故から子どもを守る						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①新生児訪問等で、病気予防のための知識、予防接種の必要性、事故防止（誤嚥、転落等）について情報提供するとともに、受動喫煙が子どもの健康に及ぼす影響について周知する。	①訪問による 情報提供	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	100%	100%	100%	
	母親の喫煙率 ★ （3～4 ヶ月 児健康診査）	目標値	6.0%	5.8%	5.6%	a
		実績値	2.4%	6.0%	3.0%	
	母親の喫煙率 ★ （1歳6ヶ月 児健康診査）	目標値	7.5%	7.0%	6.5%	c
		実績値	15.1%	8.4%	7.0%	
	母親の喫煙率 ★ （3歳児健康 診査）	目標値	12.5%	12.0%	11.5%	c
		実績値	8.8%	7.9%	12.1%	
	父親の喫煙率 ★ （3～4 ヶ月 児健康診査）	目標値	50.0%	49.5%	49.0%	b
		実績値	45.8%	43.2%	43.7%	
	父親の喫煙率 ★ （1歳6ヶ月 児健康診査）	目標値	50.5%	50.0%	49.5%	b
		実績値	50.2%	47.9%	46.6%	
②消防署と連携を図り、救命救急法の実技指導・正しい知識を普及する。	親子ハッピー 講座※	目標値	年2回	年2回	年2回	a
		実績値	1回	2回	※12回	

※H30 年度より、BabyCome☆4～5 か月広場で救命救急・事故予防に関する内容の講話を実施

0203 健康なからだづくりを実践させる						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①1歳6カ月児及び3歳児健康診査で生活リズムを確認し、規則正しい生活を送るよう指導する。	3食食べている者の割合 (1歳6カ月児健康診査)	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	99.1%	99.5%	100%	
	3食食べている者の割合 (3歳児健康診査)	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	94.3%	94.0%	91.3%	

◆実績・評価

0204 早期に適切な療育につなげる						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①発育・療育面の不安を個別に相談する機会を設定する。	個別相談回数	目標値	年 28 回	年 28 回	年 28 回	a
		実績値	32 回	37 回	35 回	
②発達・療育に不安を抱えている親子に対して個別支援する。	個別訪問・電話相談	目標値	随時実施	随時実施	随時実施	—
		実績値	随時実施	随時実施	随時実施	
③支援が必要な事例について、関係機関で情報共有する場を設ける。	事例検討会	目標値	随時実施	随時実施	随時実施	—
		実績値	随時実施	随時実施	随時実施	
④必要に応じて早期に適切な療育が受けられるよう専門機関を紹介する。	岩手県立療育センター等の専門機関への紹介	目標値	随時紹介	随時紹介	随時紹介	—
		実績値	随時紹介	随時紹介	随時紹介	

0205 子どもの成長に応じた発達を見守る						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①子育て支援センターと連携し、親子のふれあいを大切にしたい教室を開催する。	幼児教室の実施回数	目標値	年 20 回	年 20 回	年 20 回	a
		実績値	19 回	20 回	18 回	
②幼児教室の中で、成長に不安を抱える親同士が交流できる場所を設定する。	親子交流座談会の開催回数	目標値	年 3 回	年 3 回	年 3 回	a
		実績値	4 回	3 回	2 回	

◆実績・評価

0206 歯の大切さを伝えてむし歯を予防する						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①幼児と保護者に正しいブラッシング指導を行う。	毎日仕上げみがきをする親の割合（1歳6カ月児歯科健康診査）★	目標値	85.0%	85.5%	86.0%	a
		実績値	86.9%	84.0%	82.9%	
	毎日仕上げみがきをする親の割合（3歳児歯科健康診査）★	目標値	89.0%	89.5%	90.0%	a
		実績値	92.8%	93.5%	85.6%	
	むし歯のない3歳児の割合★	目標値	80.0%	80.5%	81.0%	a
		実績値	82.9%	85.1%	86.8%	
②飲み物やおやつの砂糖含有量を示した媒体を活用し、食生活の見直しができるよう指導する。	毎日ジュースを飲む（3歳児歯科健康診査）	目標値	15.0%以下	15.0%以下	15.0%以下	a
		実績値	24.3%	21.0%	25.3%	
	毎日お菓子を食べる（3歳児歯科健康診査）	目標値	15.0%以下	15.0%以下	15.0%以下	a
		実績値	19.4%	18.1%	18.3%	
③幼児健康診査において歯科衛生士による集団健康教育を実施する。	集団健康教育実施回数	目標値	12回	12回	12回	a
		実績値	6回	6回	※12回	
④妊産婦歯科健康診査を実施し、むし歯、歯周疾患の予防、早期発見を図る。	妊産婦歯科健康診査受診率※	目標値	40.0%	40.0%	40.0%	a
		実績値	31.0%	33.0%	38.3%	
⑤パパママ教室において歯科衛生士による集団健康教育を実施する。	パパママ教室健康教育実施回数	目標値	5回	5回	5回	a
		実績値	5回	5回	5回	

※受診率＝年度内受診者数÷年度内に妊婦一般健康診査受診券を交付した妊婦数

※平成30年度は隔月開催のピーバー教室内で集団健康教育を実施

◆総合評価

A	<判定理由> a：24個 b：2個 c：2個 <反省・短評> ・個別の乳幼児健康診査と1歳児歯科健康診査以降の集団健康診査の受診率はおおむね80%以上となっている。個別健康診査よりも集団健康診査の受診率が高い傾向。 ・甘い飲み物や食べ物を食べる幼児が多く、虫歯や肥満の危険性についてさらに周知する必要がある。
----------	--

＜施策領域＞ **03 楽しい子育て（育児・子育てを支援します）**

◆実績・評価

0301 育児不安を解消する						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①産婦・新生児訪問や健診等で、不安や悩みに傾聴し、適切な助言を行う。	訪問の満足度	目標値	93.0%	93.0%	93.0%	a
		実績値	95.7%	94.0%	92.8%	
	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合★	目標値	90.0%	90.0%	90.0%	a
		実績値	84.3%	93.2%	91.0%	
②乳幼児相談（ママのほっと広場等）や集団健康診査事業の際に母親が抱える育児不安や悩みについて相談を受け、必要な助言、支援を行う。	広場の満足度（年3回アンケート実施）	目標値	96.0%	96.0%	96.0%	a
		実績値	91.1%	84.3%	84.8%	

0302 正しい育児情報を伝える						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①育児の方法を確認し、正しい知識や情報を習得できる機会を提供する。	子育て等のための講座開催回数	目標値	年3回	年3回	年3回	c
		実績値	3回	2回	1回	
②町の子育て支援事業・サービスについて周知し活用を推進する。	「BirthBook」等を活用し子育て支援事業・サービスについて説明をした割合	目標値	100%	100%	100%	a
		実績値	100%	100%	100%	
③離乳食開始時期に合わせた教室を開催し、離乳食の味や進め方を正しく理解させる。	離乳食の理解ができた割合	目標値	98.0%	98.0%	98.0%	a
		実績値	95.7%	96.7%	96.7%	

◆実績・評価

0303 地域で子育てしやすい環境をととのえる						
取り組み	確認指標		H28	H29	H30	評価
①子育て支援・応援センターと連携を図り、情報を共有する。	連携事業の回数	目標値	47回	47回	47回	b
		実績値	34回	34回	30回	
	関係機関との情報交換会の回数	目標値	1回	1回	1回	a
		実績値	0回	1回	1回	
②地域の広場や、育児の悩みや困ったことを相談できる窓口を周知する。	地域や行政の相談窓口を知っている割合	目標値	70.0%	70.0%	70.0%	a
		実績値	—	65.7%	69.3%	
	この地域で子育てをしたいと思う親の割合★	目標値	93.0%	93.0%	93.0%	a
		実績値	96.1%	95.6%	96.6%	

◆総合評価

A	<判定理由> a : 8 個 b : 1 個 c : 1 個 <反省・短評> - 子育て等のための講座として、毎年さまざまな内容で、「親子ハッピー講座」を開催していたが、年々、開催回数が減少し、目標回数を実施することができなかった。対象者や内容、開催方法を検討する必要がある。 - 産婦、新生児訪問で90%以上が「満足」と回答している。しかし、その割合は年々減少傾向である。お子さんが生まれてからの訪問として、大事な訪問であるため、訪問時期やアンケートからの意見を参考に、ニーズに伝えていく必要がある。

3 みなさんの声

パパママ教室

✿妊婦

- ・ 普段の生活の中では、知ることができない知識を学ぶことができた。
- ・ 夫も一緒に参加することで、赤ちゃんへの愛情が大きくなるようで、二人で育てるんだという意識が高まった。

✿夫

- ・ 妊娠中の妻の大変さを実感することができた。
- ・ 専門の先生の講話やアドバイスが分かりやすく、有意義でした。
- ・ パパ向けの料理教室や産後のフォロー、声かけについての教室があっても楽しいと思う。



赤ちゃん訪問

- ・ 予防接種について詳しく聞けて良かった。
- ・ 産後1カ月は不安なことや分からないことが多かったので、話を聞いてもらえて心強かった。
- ・ 家族がそばにいて、相談しづらいことがあった。
- ・ 定期的な訪問があればいいなと思った。
- ・ 上の子との関わりについてもアドバイスをいただくことができた。
- ・ できれば1カ月以内に訪問してもらいたい。



BabyCome☆4-5カ月広場

- ・ 同じくらいの子どもたちの成長を見れて、参考になった。
- ・ 近所にほとんど子どもがいないので、他の親子と関わる機会になってよかった。
- ・ 離乳食の話を聞くと、子どもを預かっていたいたので、ゆっくり聞くことができた。今後の育児の参考にできる内容でよかった。
- ・ 同じくらいの子どもを持つお母さんとお話できた。子どもも楽しそうだった。
- ・ 助けてくれる保健師がたくさんいてうれしかった。
- ・ 事故予防のことが勉強になった。
- ・ 子どもがぐずっていたので、少し集中できなかった。
- ・ 絵本の読み聞かせが5か月児には長かった。

幼児歯科健康診査

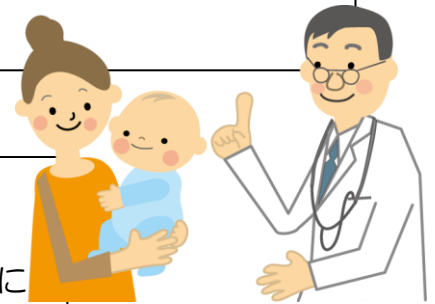
- 健診以外の事でも、不安な事はしっかり教えてもらい、資料もあったので良かった。
- 砂糖量など改めて気を付けなければならないと気づかされた。
- 午後は眠くて機嫌が悪くなるため、午前中に行ってほしい。
- 待ち時間が長い。

1歳6カ月児健康診査

- 心配な事を相談することができて安心した。
- 子供の成長を確認する機会となった。
- 待ち時間は長かったが、医師や歯科衛生士にしっかり相談することができた。
- お昼寝の時間でどうしてもぐずってしまう。午前中の時間帯にしてほしい。
- 待ち時間が長いので改善して欲しい。

3歳児健康診査

- ことばの相談もすることができた。
- 待ち時間もあまりなくスムーズに流れ、相談にも丁寧に対応してもらえた。
- ブラッシング指導を受け、虫歯に気をつけたい。
- 午後の時間帯は昼寝のため、健診でぐずってしまう。
- 待ち時間が長すぎるので、人員を増やし対応してほしい。



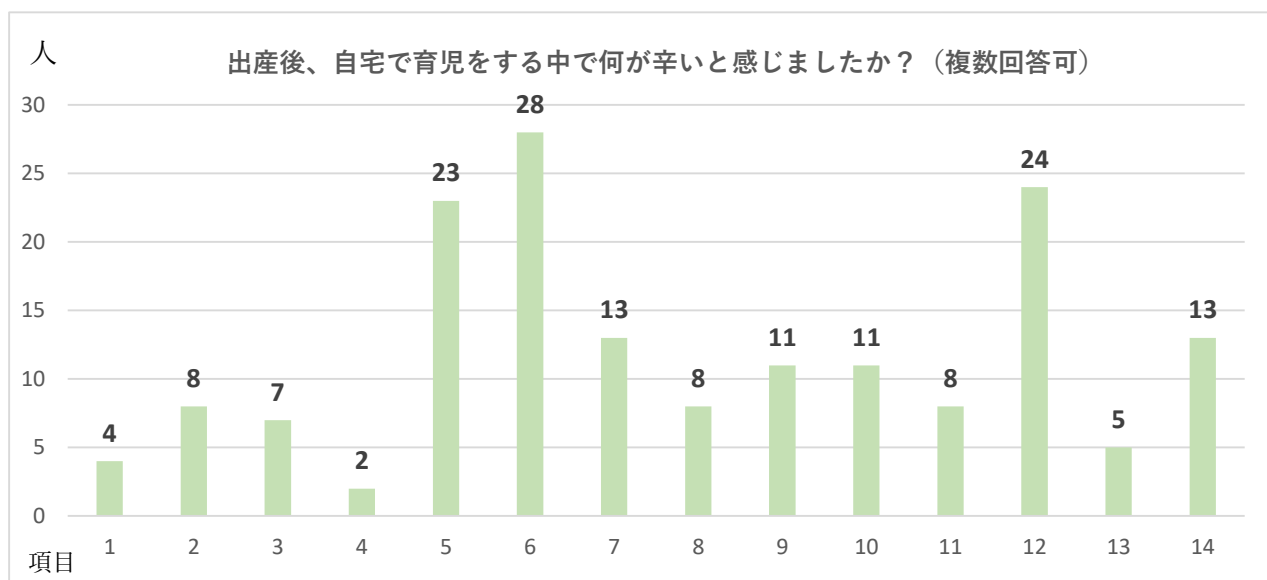
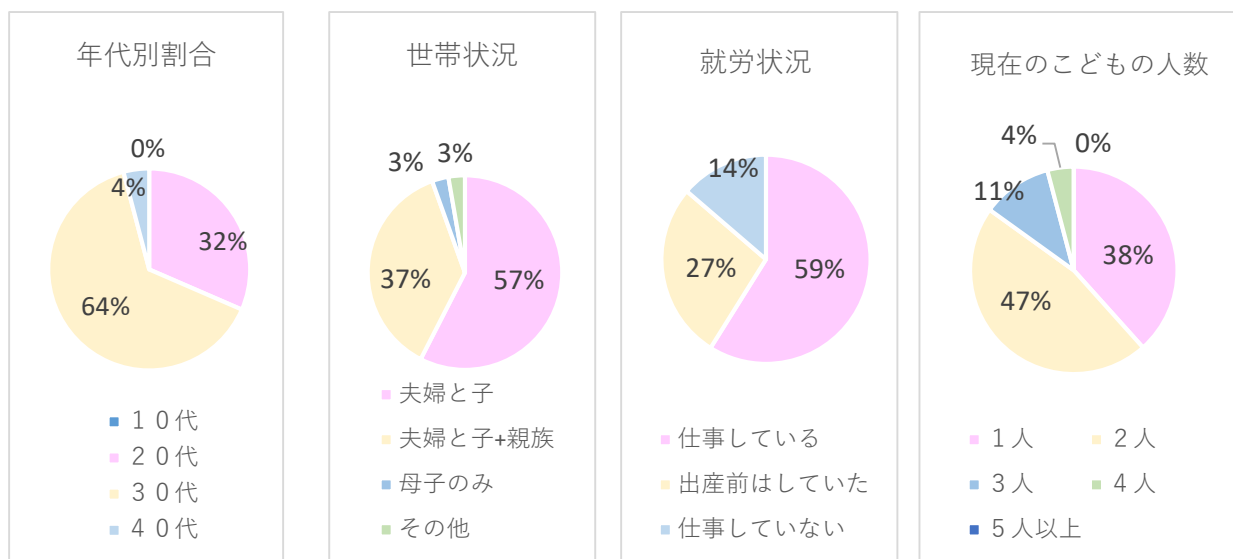
ママのほっと広場

- 明るい雰囲気でもた来たいと思った。
- 色々な月齢のお子さんを見ることができてよかった。
- 相談したいことを聞くことができた。ゆっくり聞いてもらえた。



4 産後ケアに関するアンケート調査集計結果について

4-5 ヶ月児広場（H30.2月～R1.7月開催）に来所した母親 73 人にアンケート調査実施。



<項目の内容>

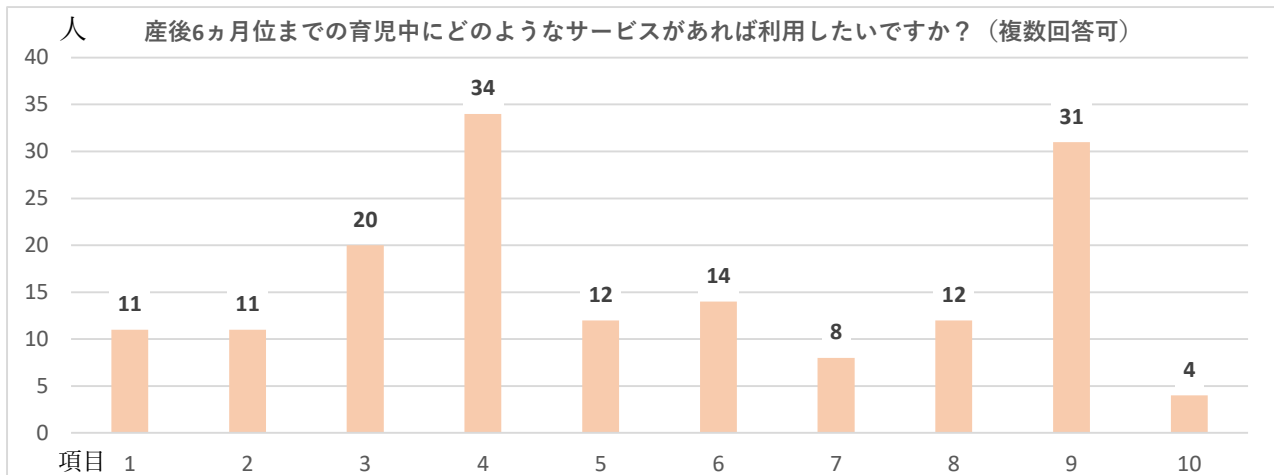
- 1 お互いの実家からの協力が得られないため、1人で育児をしなければならなかった。
- 2 両親または義理の両親と同居しているが、育児や家事の手伝いを頼みづらかった。
- 3 周囲から、育児の仕方に口を挿まれた。
- 4 夫から育児の協力を得られなかった。
- 5 上の子ども達の育児が大変だった。
- 6 寝不足
- 7 授乳が上手くいかなかった
- 8 乳房トラブル
- 9 何をしても赤ちゃんが泣き止まない時、どうしていいかわからなかった。
- 10 産後1-2ヵ月間は外出を控えるため、孤立感を感じた。
- 11 預けられる身内や施設がないため、用足しができなかった。
- 12 育児と家事の両立
- 13 その他
- 14 辛いことは特になかった。



【まとめ】

就労別や世帯別、年齢別に見ても集計に大きな差は見られず、「寝不足」「家事と育児の両立」「上の子ども達のお世話が大変」との回答が最も多かった。

次いで、赤ちゃんが泣き止まない時や授乳が上手くいかない時にも、子育てが辛く感じている。



<項目の内容>

- 1 家事を支援するサービス（調理・洗濯・買い物）
- 2 訪問してもらい、育児を一緒に手伝ってくれるサービス
- 3 助産師に授乳や乳房に関する相談ができるサービス
- 4 自分の用足しの間、赤ちゃんを預かってくれるサービス
- 5 上の子ども達を預けられるサービス
- 6 上の子ども達の保育園等への送迎サービス
- 7 宿泊して産後ケア※を受けることができるサービス
- 8 日帰りで産後ケア※を受けることができるサービス
- 9 産後エクササイズやリラックス法
- 10 その他

※ 産後ケアとは、家事をせずに育児に集中できる施設で、助産師等の専門職が産後の乳房や身体のケアや育児指導を提供する有料サービスのことを言う。



10 その他

- ・母が仕事をしていないと上の子を保育園に預けられない。そのため、産後に下の子のお世話が大変になってしまう。このような時に、上の子を預けられる託児サービスがあればいい。
- ・緊急時に赤ちゃんを預かってくれるサービス
- ・ママのほっと広場よりも、気軽に母乳量が測定できるようなサービス（授乳室と体重計）があるといい。イオンなどのベビールームに行くことが遠く感じれる。

【まとめ】

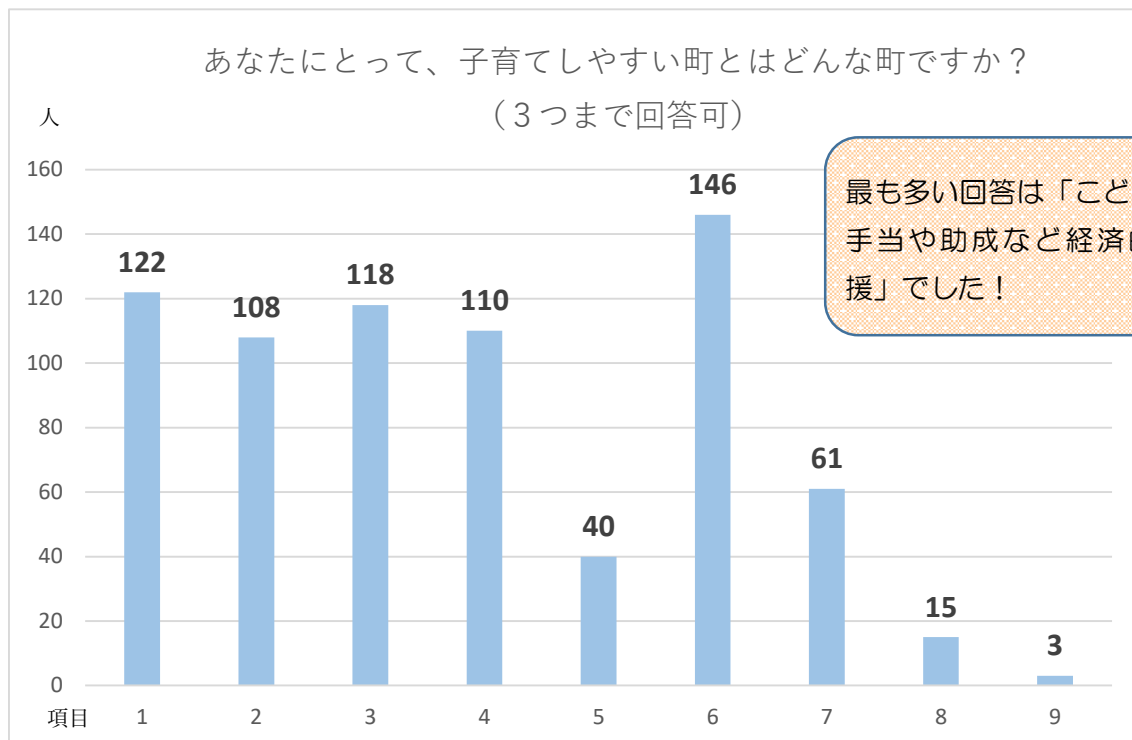
就労別や世帯別、年齢別に関係なく、上位の回答を占めたのが、「自分の用足しの間、赤ちゃんを預かってくれるサービス」「産後エクササイズやリラックス法」「助産師に授乳や乳房に関する相談ができるサービス」であった。

次に多い回答については、就労別や世帯別で差が見られており、核家族世帯では上の子ども達を預けられるサービスや保育園等への送迎サービスが多かった。

産後ケア（宿泊+日帰り型）の利用希望者は約1割程であった。宿泊型より日帰り型を希望する者が多かった。

5 子育てに関するアンケート調査の集計結果について

241 人の6歳以下の子どもを持つ保護者にアンケート調査実施。



項目の内容

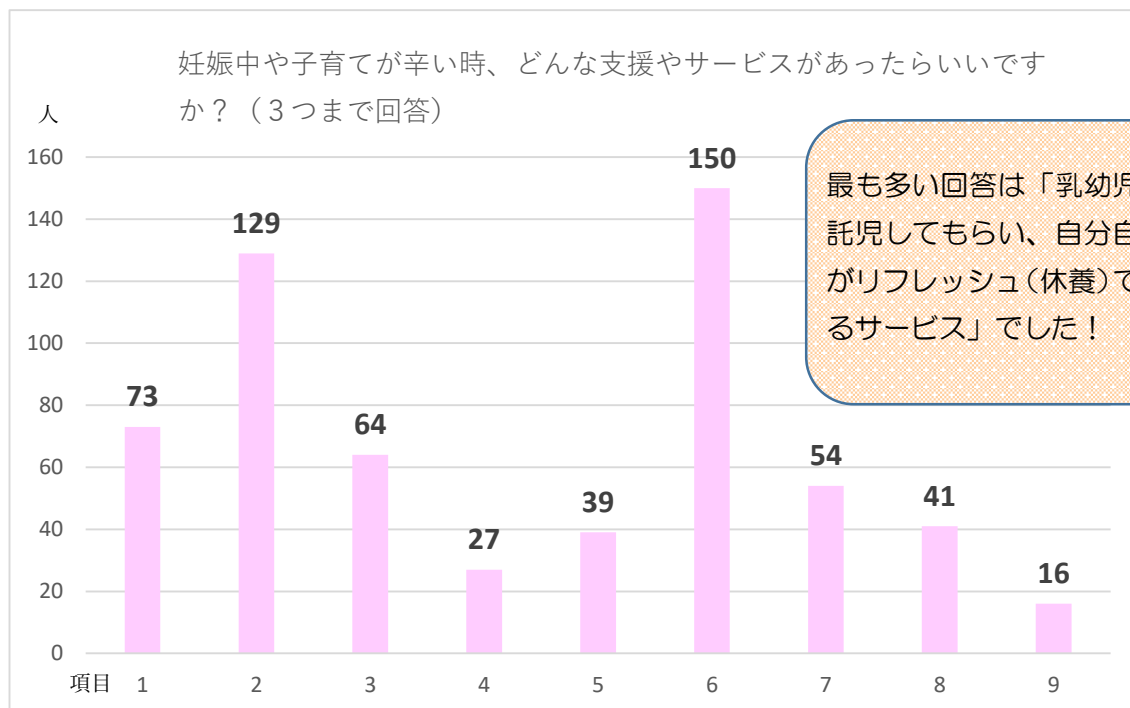
- 1 医療機関がそろっている
- 2 妊産婦やこどもの医療制度が充実している
- 3 保育施設が充実している
- 4 こどもを遊ばせる環境や遊びの施設が整っている
- 5 預けたい時にこどもを預けられる
- 6 こどもの手当や助成など経済的支援
- 7 子育てサービスが整備され、実家の支援がなくても育児が可能
- 8 心配事など相談先が充実している
- 9 その他

<その他の意見>

地域での見守り

すべての選択肢についてあったら助かると思います。

発達支援の保育所。紫波町に未就学児の発達支援保育所がない。



項目の内容

- 1 ちょっとした悩みについて、時間を問わずに、いつでも相談できるサービス
- 2 夜間・休日関係なく、預けたい時に、こどもを預けることができるサービス
- 3 家事支援サービス（買い物・掃除・調理）
- 4 育児支援サービス（支援者が傍にいて、一緒に授乳や沐浴をする）
- 5 離乳食宅配サービス
- 6 乳幼児を託児してもらい、自分自身がリフレッシュ（休養）できるサービス
- 7 専門職（助産師・保健師・保育士など）による相談
- 8 医療機関受診お手伝いサービス
- 9 その他

<その他の意見>

エステやマッサージ等リフレッシュ空間を1回でも無料で使えるようなサービス。

双子、三つ子への精神的、経済的支援。

いつでも子供と一緒に楽しめる場所があり、支援者や相談できる人と話ができる。

上の子を保育所などに送迎してくれるサービス。

ベッドや新生児用のチャイルドイートなど、数か月しか使わないベビーグッズのレンタル。

1歳からしか一時保育してもらえないことが不満。生後2か月くらいから一時間でも保育してもらえるところが（公共の）あると助かる。

小さい赤ちゃんがいるときに、上の子の習い事等の送迎、一緒に遊んでくれる人。

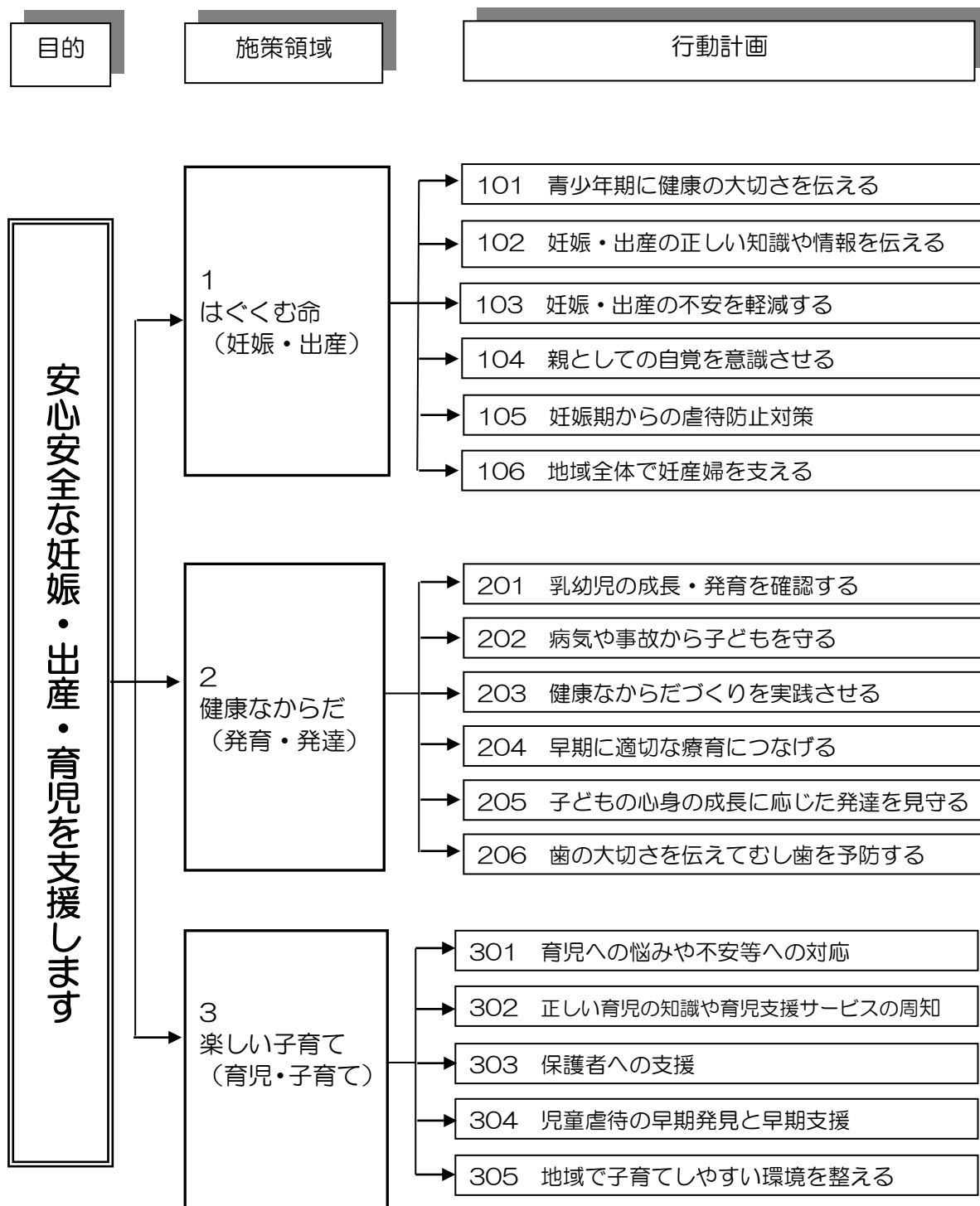
保育所に入ることができなかったので、保育所レベルの託児サービス。

産後支援センター、産後のケア、休養、授乳支援などしてもらえる設備。

IV 施策の展開

1 施策の体系

本計画では、紫波町総合計画の健康・安心分野に掲げる「安心安全な妊娠・出産・育児を支援します」を目的とし、施策を3つの領域に分け、それぞれの領域に具体的な行動計画を定めました。



2 実施施策

★…健やか親子 21(第2次)の指標

<施策領域>

1 はぐくむ命（妊娠・出産を支援します）

<目指す姿> 妊娠・出産について正しい知識を持ち、健康管理できる。
妊娠・出産の悩み・不安について1人で抱えこまず相談できる。

<行動計画> **101 青少年期に健康の大切さを伝える**

◆具体的な取り組み

①関係機関と連携し、思春期の問題について情報交換により現状を把握する。 ②タバコやアルコールの害について伝える。 （成人式にリーフレット配付）						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①連携会議や学校保健会での情報収集・参加	随時把握	随時把握				連携会議・学校保健会
②リーフレット配付回数	—	年1回				成人式での配付

◆実施事業

・要保護児童対策地域協議会・健康知識の普及事業・学校保健会

<行動計画> **102 妊娠・出産の正しい知識や情報を伝える**

◆具体的な取り組み

①早めに妊娠届出をするための普及啓発。 ②規則正しい、バランス良い食習慣の大切さについて啓発する。 ③妊婦健康診査を定期的に受診することの大切さについて伝える。 ④町や医療機関で開催している両親学級の活用について伝える。 ⑤妊産婦及び家族に喫煙の影響について伝える。 ⑥ハイリスク及び特定妊婦については、関係機関と連携を図り支援する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①妊娠11週以内の妊娠届出の割合	95.9%	96%				母子健康手帳交付週数
②③④⑤ 母子健康手帳交付時の面接指導人数	全員	全員				母子健康手帳交付時面接指導人数
⑤妊婦の喫煙率	18.1%	0%				母子健康手帳交付時の喫煙状況
個別禁煙指導 禁煙成功率	100%	100%				赤ちゃん訪問にて確認
⑥ハイリスク妊婦や特定妊婦への早期からの支援	随時	随時支援				支援（電話又は訪問）件数
医療機関との連携件数	随時	随時連携				連携件数

◆実施事業

- ・母子健康手帳の交付
- ・妊産婦保健指導
- ・妊婦一般健康診査（個別健康診査）受診票交付 妊産婦医療費受給者証交付
- ・妊産婦への家庭訪問・保健指導（エジンバラ産後うつ病質問票を使用）
- ・妊婦への個別禁煙指導や健康教育

＜行動計画＞ 103 妊娠・出産の不安を軽減する

◆具体的な取り組み

①不安の解消を図るため、相談窓口及び地区担当保健師の周知をする。						
②産前産後のメンタルヘルスについて周知する。						
③支援が必要な妊婦及び家族には、訪問などを行い支援する。						
④赤ちゃん訪問時に産婦の心身の健康状態を確認し、不安軽減に努める。						
⑤ハイリスク及び特定妊婦については、関係機関と連携を図り支援する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①②母子健康手帳交付時の面接指導人数	交付者全員	交付者全員				母子健康手帳交付時面接指導人数
②パパママ教室開催回数★※	10回	8回				パパママ教室開催回数
夫婦で参加した割合	70%	75%				パパママ教室実施状況
初妊婦の参加率	18%	25%				パパママ教室実施状況
③ハイリスク妊婦や特定妊婦への早期からの支援	随時	随時支援				
④エジンバラ産後うつ病質問票の使用率	100%	100%				赤ちゃん訪問時の実施率
⑤医療機関との連携	随時	随時連携				連携件数

※令和元年度から、パパママ教室回数は8回となる。

◆実施事業

- ・パパママ教室の開催（知識普及・保健指導）
- ・赤ちゃん訪問（産婦には、エジンバラ産後うつ病質問票を使用）

ハイリスク妊婦とは？

妊娠から分娩までの間に、母子に妊娠に基づく病気などのトラブルが起こる可能性が見られる妊娠状態を言います。

特定妊婦とは？

出産後の子どもの養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦のことをいう。

妊娠中に家庭環境にリスクを抱えており、複雑な家庭内事情を持っている場合など、育児が困難と予想される。

- ・若年妊娠や望まない妊娠
- ・飛び込み出産
- ・未婚でシングルマザー
- ・妊婦健康診査を受けていない
- ・知的障がいや精神障がいがある



＜行動計画＞ 104 親としての自覚を意識させる

◆具体的な取り組み

①夫婦・家族がお互いの役割を理解し、積極的に育児に参加できるように支援する。 ②夫婦で体験できる沐浴実習・抱っこ体験・妊婦疑似体験等の実習の場を設け、2人で子育てしていく意識が高まるよう支援する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
親になる心の準備ができた と感じる人の割合	妊婦 100% 夫 92.6%	妊婦 100% 夫 93%				パパママ教室 アンケート

◆実施事業

- ・パパママ教室の開催（知識普及教室・保健指

＜パパママ教室の風景＞



写真を入れる

＜行動計画＞ 105 妊娠期からの虐待防止対策

◆具体的な取り組み

①母子手帳交付時に、妊婦の心身の健康状態や家庭状況（キーパーソンの把握）の把握や心配事の相談に応じる。 ②支援が必要な妊婦やその家族には面接や訪問を行い、継続支援する。 ③関係機関と連携しながら、支援方法を検討する。 ④相談窓口の周知に努める。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①特定妊婦の把握	随時把握	随時把握				母子健康手帳交付後のケース連絡会
②特定妊婦への早期支援	—	随時支援				特定妊婦訪問件数
③関係機関との連携	—	随時連携				関係機関との情報共有や連携を図る
④成人式でのリーフレット配付	—	年 1 回				成人式での配付

◆実施事業

- ・母子健康手帳交付
- ・要保護児童対策地域協議会
- ・ファミリーサポートセンターの周知

＜行動計画＞ 106 地域全体で妊産婦を支える

◆具体的な取り組み

①町民に妊産婦への配慮の必要性を啓発する。（飲酒・タバコの副流煙・優先座席など）						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
広報・地区保健活動での周知	—	広報掲載（隔年）				広報掲載回数
マタニティマークを知っている者の割合★	62.4%	60%	—	70%	—	元気はつらつアンケート

◆実施事業

- ・元気はつらつアンケート（隔年実施）
- ・ファミリーサポートセンターの周知

＜施策領域＞ **2 健康なからだ（発育・発達を支援します）**

＜目指す姿＞ ☆こどもの個別健診や集団健診をきちんと受ける。
 ☆健診を受けることで、こどもの発育・発達を確認することができる。
 ☆こどもの健やかな成長を促すため、できるだけ規則正しい生活を心がける。

＜行動計画＞ 201 乳幼児の成長・発育を確認する

◆具体的な取り組み

- ①乳幼児の成長・発育が確認できる健康診査の受診を勧める。
- ②発達確認シート（育ち桜）を活用し、乳幼児個々の発達を保護者が確認できるようにする。
- ③健診未受診者に対して、電話や訪問・保育施設と連携し、保護者への受診勧奨を行う。

確認指標	基準値	目標値					確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5		
①3～4カ月児健康診査受診率 (個別)★	80.3%	81.0%	81.5%	82.0%	82.5%	受診児数 ／対象児数	
1歳6カ月児健康診査受診率★	94.7%	95.0%	95.5%	96.0%	96.5%	〃	
2歳児歯科健康診査受診率	95.1%	95.5%	95.5%	96.0%	96.0%	〃	
2歳6カ月児歯科健康診査 受診率	95.1%	95.5%	95.5%	96.0%	96.0%	〃	
3歳児健康診査受診率★	95%	95.5%	96.0%	96.5%	97.0%	〃	
②発達確認シートの使用割合 (各健康診査時)	100%	100%	100%	100%	100%	各健康診査時 実施状況	

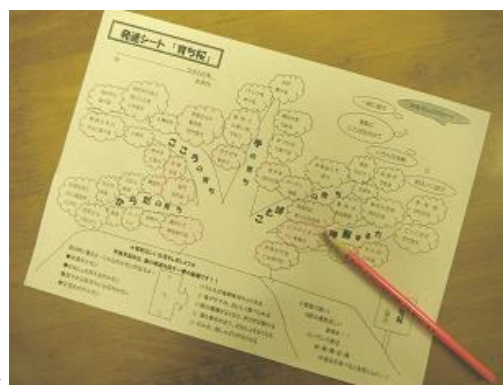
◆実施事業

- ・1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査（集団健康診査）
- ・幼児歯科健康診査（集団健康診査）
- ・乳児一般健康診査（1歳2カ月までの期間に小児科で使用できる受診票を5枚交付）

＜健康診査の様子＞



＜発達確認シート～育ち桜～＞



＜行動計画＞ 202 病気や事故から子どもを守る

◆具体的な取り組み

①新生児訪問等で、病気予防のための知識、予防接種の必要性、事故防止（誤嚥、転落等）について情報提供するとともに、受動喫煙が子どもの健康に及ぼす影響について周知する。						
②消防署と連携を図り、救急救命法の正しい知識を普及する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①訪問による情報提供	99.6%	100%				情報提供件数 ／訪問件数
母親の喫煙率★ （3～4カ月児健康診査）	3%	0%				3～4カ月児 健康診査票
母親の喫煙率★ （1歳6カ月児健康診査）	7%	7%	7%	6.5%	6%	健やか親子21 アンケート
母親の喫煙率★ （3歳児健康診査）	12.1%	12%	12%	11.5%	11%	健やか親子21 アンケート
父親の喫煙率★ （3～4カ月児健康診査）	43.7%	43%	43%	42.5%	42.5%	3～4カ月児 健康診査票
父親の喫煙率★ （1歳6カ月児健康診査）	46.6%	46.5%	46.5%	46%	46%	健やか親子21 アンケート
父親の喫煙率★ （3歳児健康診査）	48.4%	48%	48%	47.5%	47.5%	健やか親子21 アンケート
②4-5 ヶ月児広場での 実施回数	12 回	12 回				実施回数

◆実施事業

- ・赤ちゃん訪問
- ・Baby Come☆4－5カ月児広場

＜紫波消防署職員によるこどもの事故予防の講話＞



＜行動計画＞ 203 健康なからだづくりを实践させる

◆具体的な取り組み

①集団健康診査で生活リズムを確認し、規則正しい生活を送るよう指導する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
3食食べている割合 (1歳6カ月児健康診査)	100%	100%				1歳6カ月児健康診査 問診票
3食食べている割合 (3歳児健康診査)	91.3%	100%				3歳児健康診査歯と食 事の問診票
21時台までに就寝している割合 (1歳6カ月児健康診査)	94.3%	95%	95%	96%	96%	1歳6カ月児健康診査 問診票
21時台までに就寝している割合 (3歳児健康診査)	80.8%	81%	82%	83%	84%	3歳児健康診査「歯と 食事の問診票」

◆実施事業

- ・幼児健康診査時の保健指導

＜行動計画＞ 204 早期に適切な療育につなげる

◆具体的な取り組み

①発達や療育面の不安を個別に相談する機会を設定する。 ②発達や療育面に不安を抱える親子に対して個別支援を行う。 ③支援が必要な事例について、関係機関と情報共有する場を設ける。 ④必要に応じて早期に適切な療育が受けられるよう専門機関を紹介する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①個別相談回数※	46回	年40回				個別相談実施回数
②個別訪問・電話相談	随時実施	随時実施				
③ケア会議の開催	随時実施	随時実施				
④県立療育センター等の 専門機関への紹介	随時紹介	随時紹介				個別相談・1歳6カ 月児健康診査・3歳 児健康診査紹介状況

※平成31年度から、1歳6カ月児健康診査における個別相談は実施していない。

◆実施事業

- ・個別相談 療育巡回相談
- ・個別訪問 電話相談

＜行動計画＞ 205 子どもの心身の成長に応じた発達を見守る

◆具体的な取り組み

①子育て応援センター等や専門職種（心理判定員等）と連携し、親子の触れ合いや遊びを通じて、心身の発達に応じた保護者への関わりや、よりよい親子関係の確立が図れるように教室を開催する。 ②幼児教室のスタッフ間の情報共有を図り、個々に応じた親子への関わりを継続していく。 ③関係部署や保育所等と連携し、保護者の悩みや不安を共有しながら、個々に応じた親子への支援を継続する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①幼児教室の実施回数	18回	年20回				幼児教室実施回数
②③関係部署や保育所等との連携	随時実施	随時実施				

◆実施事業

- ・幼児教室
- ・こどもサポート会議

＜行動計画＞ 206 歯の大切さを伝えてむし歯を予防する

◆具体的な取り組み

①幼児と保護者に正しいブラッシング指導を行う。 ②飲み物やおやつの砂糖含有量を示した媒体を活用し、食生活の見直しができるよう指導する。 ③幼児健康診査において歯科衛生士による集団健康教育を実施する。 ④妊婦歯科健康診査を実施し、むし歯、歯周疾患の予防、早期発見を図る。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①毎日仕上げみがきをする親の割合（1歳6カ月児歯科健康診査）★	78.6%	79%	80%	81%	82%	健やか親子21アンケート
毎日仕上げみがきをする親の割合（3歳児歯科健康診査）★	82.2%	83%	84%	85%	86%	健やか親子21アンケート
むし歯のない3歳児の割合★	86.4%	87%	88%	89%	90%	3歳児歯科健康診査統計
②毎日ジュース・乳酸飲料水などを飲む割合（3歳児歯科健康診査）	25.3%	15%以下				3歳児健康診査歯と食事に関する問診票
毎日お菓子を食べる割合（3歳児歯科健康診査）	18.3%	15%以下				3歳児健康診査歯と食事に関する問診票
③集団健康教育実施回数	6回	6回				2歳6カ月児健康診査実施回数
④妊婦歯科健康診査受診率	10.7%	30%				歯科健康診査受診者数／受診券交付者数

◆実施事業 ・ 幼児健康診査時の歯科保健指導 ・ 妊婦歯科健康診査

＜施策領域＞ **3 楽しい子育て（子育てを支援します）**

＜目指す姿＞ 子どもの健康や育ちに悩んだ時、1人で悩まず相談することができる。
相談できる窓口を知っている。
困った時に支援を受けながら、安心して子育てができる。

＜行動計画＞ **301 育児への悩みや不安等への対応**

◆具体的な取り組み

①相談窓口の周知を図る。 ②産婦・乳幼児訪問や健診等で、育児不安や悩み等を傾聴し、支援を行う。 ③育てにくさを感じる保護者への支援。 ④関係機関との情報共有を図り、一貫した支援を心がける。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①子育てで困った時に相談できる窓口を知っている割合	69.3%	70%	73%	76%	80%	健やか親子21 アンケート(1歳6ヵ月児健康診査 問16)
②育児不安や悩み等への支援	—	随時対応				
③育てにくさを感じた時に対処できる親の割合★	81.3% ※国の調査 (直近値H29)	95% (健やか親子21 最終評価目標値)				健やか親子21 アンケート(3-4ヵ月、1歳6ヵ月児、3歳児健康診)
④関係機関との情報共有	—	随時対応				

◆実施事業

- ・産婦、乳幼児訪問時に相談・助言
- ・乳幼児相談（ママのほっと広場、BabyCome☆4-5ヵ月広場）
- ・集団健康診査事業
- ・個別（発達）相談
- ・こどもセンター「育ちの相談」
- ・紫波の子育てを支援する会「あれんと」子育て相談会
- ・関係機関との連携会議（こどもサポート会議等）



＜行動計画＞ 302 正しい育児の知識や育児支援サービスの周知

◆具体的な取り組み

- ①育児の知識や情報を取得できる機会を提供する。
 ②町の子育て支援事業・サービスについて周知する。
 ③離乳食開始時期に合わせた教室を開催し、離乳食の味や進め方を正しく理解させる。

確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①広報や乳幼児事業での周知	—	年1回				広報掲載回数
②「Birth Book」等を活用し子育て支援事業・サービスについて説明をした割合	100%	100%				情報提供件数 ／訪問件数
③離乳食についての理解ができた割合	96.7%	98%				BabyCome☆4-5 カ月広場アンケート

◆実施事業

- ・BabyCome☆4-5カ月広場
- ・離乳食教室
- ・「Birth Book」配付

＜離乳食教室＞

写真を入れる

＜行動計画＞ 303 保護者への支援

◆具体的な取り組み

①育児の困難さにつながる背景（病気・介護・経済的困難・DV等）に寄り添い、適切な支援を行う。 ②関係機関や部署と連携し、心身のストレスが軽減されるように、サービスの情報など提供する。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①保護者への早期支援	—	随時支援				
②関係機関や部署との連携	—	随時実施				
②ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合★	3-4 ヲ月児 87.6%	87%	87%	87.5%	87.5%	健やか親子 21 アンケート（3-4 ヲ月児、1 ヲ月児、3 ヲ月児健康診査）
	1 ヲ月 6 ヲ月児 73.5%	73%	73.5%	74%	74.5%	
	3 ヲ月児 66.2%	66%	66.5%	67%	67.5%	

◆実施事業

- ・1 ヲ月 6 ヲ月児健康診査、2 ヲ月児歯科健康診査、2 ヲ月 6 ヲ月児健康診査、3 ヲ月児健康診査、ママのほっと広場、BabyCome☆4-5 ヲ月児広場、幼児教室
- ・家庭訪問や電話相談
- ・子育て支援センターや保育施設との情報共有
- ・関係機関との連携会議（ケア会議等）

写真を入れる

＜行動計画＞ 304 児童虐待の早期発見と早期支援

◆具体的な取り組み

①出産後、連絡の取れない保護者に対して、状況把握に努める。 ②健康診査未受診者の家庭に電話又は訪問し、受診勧奨を行う。 ③関係部署や機関と連携しながら支援を行う。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
①全戸赤ちゃん訪問の実施率	99.4%	100%				紫波町母子保健事業報告
②健診未受診者の把握率	100%	100%				1歳6ヵ月児健康診査 2歳児歯科健康診査 2歳6ヵ月児健康診査 3歳児健康診査
③関係部署や機関と連携し支援を行った件数	—	随時支援				

◆実施事業

- ・赤ちゃん訪問
- ・1歳6ヵ月児健康診査、2歳児歯科健康診査、2歳6ヵ月児健康診査、3歳児健康診査
- ・家庭訪問や電話相談
- ・子育て支援センターや保育施設との情報共有
- ・関係機関との連携会議（ケア会議等）
- ・要保護児童対策協議会

＜行動計画＞ 305 地域で子育てしやすい環境を整える

◆具体的な取り組み

①地域の子育て資源についての情報発信（担当課のこども課と連携する）。 ②ニーズの把握をし、関係部署との間で課題や情報共有を図る。						
確認指標	基準値	目標値				確認方法
	H30	R2	R3	R4	R5	
連携事業の回数	47回	47回				1歳6ヵ月児健康診査、3歳児健康診査、幼児教室、ママのほっと広場
関係機関との情報交換会の回数	—	1回				開催回数
この地域で今後も子育てをしたいと思う割合★	96.5%	96%	96%	97%	97%	健やか親子21アンケート（3-4ヵ月児、1歳6ヵ月児、3歳児健康診査）

◆実施事業

- ・1歳6カ月児健康診査、2歳児歯科健康診査、2歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査、ママのほっと広場、BabyCome☆4-5カ月児広場、幼児教室
- ・赤ちゃん訪問

◆助成事業

- ・個別乳幼児健康診査、新生児聴覚検査、県外里帰り出産における乳児健康診査及び予防接種償還払い

◆関係部署関連事業

- ・こども医療費助成制度拡大 H29.8月～（小学校6年生⇒中学校3年生）
- ・R1.10月～3歳以上保育料無償化
- ・ファミリーサポートセンター

母子保健事業担当者意見交換会



絵本の読み聞かせボランティアによる
4-5カ月児広場の風景



VI 計画の推進

1 切れ目ない支援体制

平成27年から健やか親子21（第2次）の取り組みがスタートし、「妊娠期からの切れ目のない支援」がスローガンとなり、行政の母子保健分野に期待される活動は多岐にわたります。国からの重点課題として①育てにくさを感じる親への寄り添う支援 ②妊娠期からの児童虐待防止対策が提示されました。本計画においてもこの2点を重要視し、今後も対象者への支援を継続してまいります。

乳幼児虐待予防の視点からは、ハイリスク妊産婦への支援の強化も求められており、生活背景や既往歴等について丁寧なアセスメントを行い、リスクに合わせた個別の支援を継続してまいります。

令和2年度に、紫波町子育て世代包括支援センターが設置されます。「妊娠期からの切れ目のない支援」を念頭に、庁内関係課や医療機関、保育施設、地域の子育て支援団体、主任児童民生委員等と連携や協力しながら、母子保健事業の枠を超え、親子を支える町づくりを目指していきます。

体制イメージ図が入ります

2 事業の進捗を確認する機関

紫波町元気はつらつ委員

(令和元年6月1日～令和3年5月31日)

氏 名	役 職 名	区 分
直 島 淳 太	なおしま医院 院長	紫波郡医師会
深 澤 太賀男	ふかざわ歯科医院 院長	紫波郡歯科医師会
作 山 正 美	スポーツ健康科学研究所 主宰	学識者
笹 田 陽 子	盛岡大学栄養科学部 教授	学識者
橋 本 信 子	元矢巾町保健師	学識者
五十嵐 敏 江	一般財団法人紫波町体育協会 主事	各種団体
石 亀 孝 文	紫波町社会福祉協議会副会長	各種団体
高 橋 紅 子	紫波町老人クラブ連合会副会長	各種団体
細 川 直 子	紫波町保健推進員協議会 幹事	各種団体
小 澤 由香里	紫波町食生活改善推進員協議会 会長	各種団体
小 川 恵美子	紫波町学校保健委員会 養護教諭部会	各種団体
澤 口 裕 樹	一般町民	公募
田 村 眞智子	一般町民	公募
今 ゆかり	一般町民	公募

3 第六次紫波町母子保健計画策定経過

年月日	会議等
平成31年2月～7月末	産後ケアアンケート調査
令和元年 5月13日	庁内スタッフ検討会 ①
5月23日	第1回市民参加推進会議
5月29日	庁内スタッフ検討会 ②
6月10日	施設長（町内保育所・児童館）会議での情報交換会
7月 1日	庁内スタッフ検討会 ③
7月～8月末	子育てに関するアンケート調査
7月30日	第1回 元気はつらつ委員会
8月16日	庁内スタッフ検討会 ④
8月29日	母子保健担当者意見交換会
9月 9日	庁内スタッフ検討会 ⑤
10月28日	庁内スタッフ検討会 ⑥
11月 7日	第2回市民参加推進会議

<母子保健計画策定チーム>

小 川 陽 子
横 坂 裕 美
須 川 有理恵
曾 根 育 海





第六次紫波町母子保健計画

令和2年 3月 岩手県紫波町

〒028-3392

岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地1

紫波町生活部健康福祉課

電話 019-672-2111